FMV

B5FH-7431-01

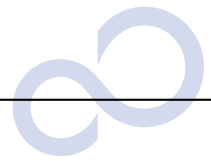
困った時に読む本

トラブル解決ガイド

パソコン画面が映らないなどのトラブル時の対処について説明します。
画面が表示できる状態でのトラブルについては、
画面で見る「サービスアシスタント」をご覧ください。

FUJITSU

表紙をめくるとマニュアルの
読み方があります。

知りたいことを調べるには

本で調べる

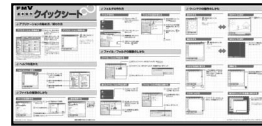
『パソコンの準備』

パソコンの接続やWindowsのセットアップなど、パソコンを使い始める前に必要な準備について書かれています。

『使いはじめガイド』

パソコンを使うための基礎知識やユーザー登録の方法、インターネットやEメールの始め方などがわかります。

『トラブル解決ガイド』

画面が表示されないなど、サービスアシスタントでは調べられないトラブルの原因・対処がわかります。

『基本操作クイックシート』

パソコンの基本的な操作方法がまとめてあります。お手元に置いてご覧ください。

画面で調べる

「サービスアシスタント」

詳しくは『使いはじめガイド』をご覧ください。

（ヘルプ）

サービスアシスタントの詳しい使い方を知りたいときは、このボタンをクリック！

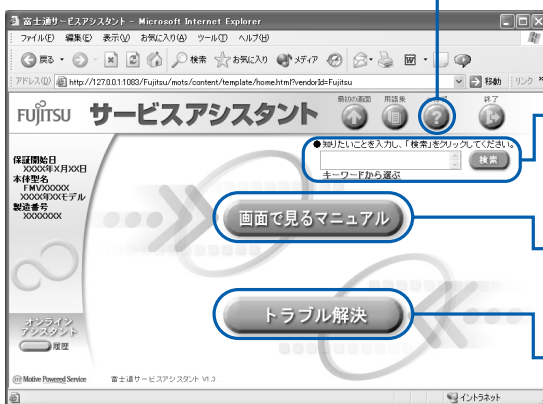
検索

知りたいことがどこに載っているかわからない、というときはここで検索しましょう。用意されたキーワードを利用することもできます。

画面で見るマニュアル

パソコン入門やアプリケーションの使い方、周辺機器の取り付け方などが調べられます。

トラブル解決

このボタンをクリックすると、故障かどうかのチェックが行われ、トラブル解決のためのアドバイスが表示されます。

●起動方法

DESKPOWERの場合

キーボードの「サポート」（または「Support」）ボタンを押す

BIBLOの場合（LOOX Sシリーズ除く）

ワンタッチボタンの「A」ボタンを押す（機種によってはモードの切り替えが必要です）

BIBLO LOOX Sシリーズの場合

画面にある サービスアシスタント をクリック

※「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

『トラブル解決ガイド』の内容

トラブル解決の手がかりを探すには

第 1 章　Q&A 集

- トラブル解決の流れ
- 電源が入らないトラブル、画面の表示がおかしいトラブルなど

もっと便利に使うためのヒントなど

第 1 章　Q&A 集

- こんなことがしたい
- バックアップについて

ご購入時の状態に戻したいとき

第 2 章　パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

- リカバリを実行する
- アプリケーションをインストールする

どうしてもトラブルが解決しないとき

第 3 章　問い合わせしたいときは

- お問合せ先について

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-BIBLO	BIBLO
FMV-BIBLO LOOX	BIBLO LOOX または LOOX
富士通サービスアシスタント V1.4	サービスアシスタント
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows または Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows または Windows XP Professional
Microsoft® Office XP Personal	Office XP Personal
Microsoft® Word Version 2002	Microsoft Word
Microsoft® Excel Version 2002	Microsoft Excel
Microsoft® Outlook® Version 2002	Microsoft Outlook
Microsoft® Office XP Tools CD	Office XP ツール CD
Microsoft® Outlook® Plus! Version 2.0	Microsoft Outlook Plus! 2.0
Microsoft® Bookshelf® Basic 3.0	Microsoft Bookshelf Basic
Microsoft® Internet Explorer 6.0.2800.1106.xpsp1.020828-1920	Internet Explorer
WinDVD™ 4	WinDVD
OASYS Viewer V8.0	OASYS ビューア
DVD-MovieAlbumSE	DVD-MovieAlbum
プロアトラス W for FUJITSU CD 版	プロアトラスまたはプロアトラス（CD）
プロアトラス W for FUJITSU DVD 版	プロアトラスまたはプロアトラス（DVD）
Norton Internet Security™ 2003	Norton Internet Security
蔵衛門 9 デジブック	蔵衛門デジブック
Vision Connect for Broadband@nifty	Vision Connect
Media Stage Standard Edition	Media Stage または Media Stage SE
Media Stage Light Edition	Media Stage または Media Stage LE
Virtual CD 7	Virtual CD
CD- R/RW ドライブ、CD- RW/DVD- ROM ドライブ、DVD- R/RW ドライブ、DVD Multi ドライブ	CD/DVD ドライブ

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・DESKPOWER の場合 キーボードの「サポート（または「Support」）」ボタンを押す ・BIBLO NB、MG シリーズの場合 ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す ・BIBLO NH、LOOX T シリーズの場合 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押す ・BIBLO LOOX S シリーズの場合 画面にある FUJITSU サービスアシスタント をクリック ・全機種共通 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

各部名称について

一部の各部名称は、機種により異なります。
その場合は、次のように併記しています。
電源ボタン（SUS/RES スイッチ）

商標および著作権について

目次

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）の最初の画面 → キーワードから選ぶ 検索

第 1 章　Q&A 集

第 2 章　パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

第 3 章　問い合わせしたいときは

サービスアシスタント起動時のエラーについて

一部の CATV やネットワーク環境において、Internet Explorer の画面内にエラーが表示されて、サービスアシスタントが起動できないことがあります。
このような場合は、次の手順をお試しください。
特に CATV 事業者からプロキシ設定の方法が公開されている場合には、手動でプロキシの設定を行ってみてください。詳しくは、事業者から配布されている説明書やホームページをご覧いただくか、各事業者にお問い合わせください。
なお、設定変更によりインターネット接続ができなくなったり、メールの送受信ができなくなった場合には、サービスアシスタントのご利用が終わりましたら、元の設定に戻してお使いください。

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3 「インターネットオプション」をクリックします。
「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「接続」タブをクリックします。

5 「LAN の設定」をクリックします。

6 「設定を自動的に検出する」および「自動構成スクリプトを使用する」が☑になっていたら、クリックして□にします。

POINT

プロキシ設定の方法が公開されているときは

- ご利用の CATV 事業者からプロキシ設定の方法が公開されている場合は、手動でプロキシの設定を行うことで、解決する可能性があります。
手順 6 の後、「LAN にプロキシサーバーを使用する」の□をクリックして☑にし、アドレスやポートを入力します。
その後「詳細設定」をクリックし、「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に「127.0.0.1」と入力し、最後に「OK」をクリックします。
プロキシ設定について詳しくは、事業者から提供されるマニュアルなどをご覧ください。
- プロキシ設定の方法が公開されていない場合や、よくわからないという方は、何もせず手順 7 に進んでください。

7 「OK」をクリックします。

8 「OK」をクリックします。

9 「ネットワークとインターネット接続」ウィンドウの❎をクリックして閉じます。

10 パソコンを再起動したのち、サービスアシスタントを起動します。

1

第 1 章

Q&A 集

ここでは、パソコンを使っていて、故障かなと思うようなトラブルが発生した場合の対処方法を、Q&A 方式で説明しています。

1 パソコンにトラブルが起こったときは

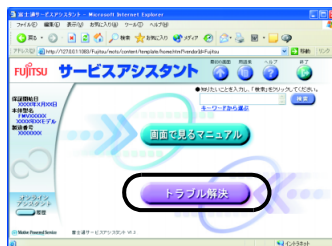
パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次の順番でチェックしてみてください。簡単に解決できる場合があります。

■「サービスアシスタント」が起動できる場合

パソコンの画面が表示できる、操作できる　など

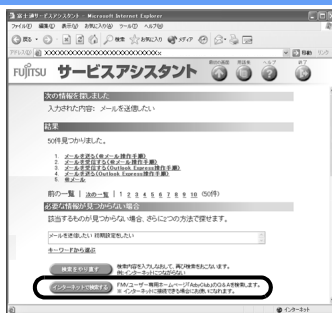
STEP1　「トラブル解決」ボタンで診断する

パソコンに異常があるかどうかをチェックします。
「サービスアシスタント」の最初の画面で「トラブル解決」をクリックすると、トラブル箇所についてパソコンが自己診断します。

- 問題があった場合は修復のための適切なアドバイスが表示されます。
- 問題がなかった場合は、「画面で見るマニュアル」内から参考になりそうなトピックが一覧表示されます。

STEP2　結果画面で文字を入力して検索する

結果の一覧を見ても解決しなかった場合は、具体的なトラブル内容を入力して、パソコン内に保存されているトラブル事例や解説の中からさらに知りたい情報を検索します。

STEP3　検索結果から探す

検索結果の一覧をクリックすると、「画面で見るマニュアル」が別画面で表示されます。
探せなかった場合は、別のキーワードを入力して、再び検索できます。
もっと多くの事例から探したい場合は、「インターネットで検索する」をクリックしてください。

STEP4　インターネットに接続して検索する（無料）★

インターネットに接続して、FMV ユーザー専用ホームページ「AzbyClub」の Q&Anavi から探します。Q&Anavi の検索結果をクリックすると、Q&A 方式の説明が表示されます。

STEP5　オンラインアシスタントを利用する（無料）★

「サービスアシスタント」の「オンラインアシスタントサービス」を使用して、サポート担当者とのメッセージ交換により問題を解決することができます。

※「サービスアシスタント」の操作方法について詳しくは、『使いはじめガイド』をご覧ください。
※★印のサポートのご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録方法については、『使いはじめガイド』をご覧ください。
※一部のサービスでは、インターネットへの接続環境が必要となります。また、別途通信費がかかります。

■「サービスアシスタント」が起動できない場合

パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス／フラットポイント／クイックポイントⅣ、キーボードが操作できない　など

STEP1　『トラブル解決ガイド』（この本）の Q&A 集を見る

サービスアシスタントが見られない状態のときは、「Q&A 集」から該当するトラブルを探します。
パソコンの電源が入らない、パソコンの画面が表示できない、マウス / フラットポイント / クイックポイントⅣ、キーボードが操作できないなどのトラブルについて調べることができます。
『トラブル解決ガイド』（この本）→「Q&A 集」

こんなトラブルの場合は、下の「その他」も参考にしてください。

- アプリケーションがおかしい
  →「アプリケーションについて問い合わせる」
- 買ってすぐの状態で、起動しなくなった
  →「リカバリディスクを実行し、ご購入時の状態に戻す」
- 買ってすぐの状態で、青い画面やエラーが表示されてしまった
  →「リカバリディスクを実行し、ご購入時の状態に戻す」

STEP2　電話で問い合わせる（一部有料）★

どうしてもトラブルが解決しないときは、お問い合わせください。
『トラブル解決ガイド』（この本）→「問い合わせしたいときは」
『サポート＆サービスのご案内』

その他

パソコンの状態や解決したい内容によっては、次のような方法もあります。

■インターネットに接続してサポート情報を調べる（無料）★

インターネットに接続できる場合
AzbyClub のサポートサイトでは、機種別の注意事項など、最新のサポート情報を掲載しています。定期的にご覧になることをお勧めします。

■アプリケーションについて問い合わせる

アプリケーションについて問題が起きた場合
このパソコンに添付されているアプリケーションについてのお問い合わせは、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

■リカバリディスクを実行し、ご購入時の状態に戻す

購入直後、起動しないなどのトラブルが発生した場合
修理が必要と判断した場合
パソコンをご購入時の状態に戻します。リカバリディスクを実行すると、C ドライブのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
『トラブル解決ガイド』（この本）→「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」

■ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方［DESKPOWER］

ホームサーバー機能についての詳しい説明や Q&A 集、ホームサーバー機能のリカバリについては、『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

2 電源が入らない、画面が表示できないトラブル

Q パソコンの電源が入らない

A DESKPOWER と BIBLO で対処法が異なります。順番に確認してください。

［DESKPOWER の場合］

パソコン本体の電源ランプが点灯していない場合は、パソコンの電源が入っていません。

原因	対処
パソコン本体の電源ケーブルが外れている	電源ボタンを押してもパソコン本体の電源ランプが点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 接続については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。

以上の点を確認しても画面が表示できない場合は、「Q パソコンの電源は入るが、画面に何も表示されない」（P.12）もあわせてご覧ください。

［BIBLO の場合］

状態表示 LED/LCD に ⏻ が点灯していない場合は、パソコンの電源が入っていません。

原因	対処
AC アダプタが外れている	『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」をご覧になり、AC アダプタを正しく接続してください
電源ボタン（SUS/RES スイッチ）がしっかり押されていない	電源ボタン（SUS/RES スイッチ）をしっかりと押して電源を入れてください。
バッテリが切れている （バッテリをご使用の場合）	AC アダプタを接続して充電してください。バッテリを充電後、パソコンを使わなかった場合でも、約 1ヶ月（LOOX は約 10 日）で自然放電してしまいます。 ご使用の際は、バッテリの残量に留意してください。バッテリ残量表示については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。
バッテリが外れている （バッテリをご使用の場合）	バッテリがしっかり取り付けられているか確認してください。 バッテリの取り付け方を確認したい場合は、AC アダプタを接続してから（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

各ボタンやスイッチの場所については、『パソコンの準備』→「各部名称」をご覧ください。

以上の点を確認しても画面が表示できない場合は、「Q パソコンの電源は入るが、画面に何も表示されない」（••▶ P.12）もあわせてご覧ください。
バッテリをご使用の場合は、「Q バッテリが充電されない［BIBLO］」（••▶ P.34）もあわせてご覧ください。

Q　パソコンの電源は入るが、画面に何も表示されない

A　次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

使っている途中で画面に何も表示されなくなった場合は、次の「Q パソコンを使っていたら、画面が真っ暗になった」（••▶ P.14）をご覧ください。
画面にメッセージが表示された場合は、「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）」（••▶ P.16）をご覧ください。

［DESKPOWER の場合］

原因	対処
ディスプレイのケーブルが外れている、または電源が入っていない（L シリーズを除く）	ディスプレイの電源ランプが消灯またはオレンジ色に点灯している場合は、ディスプレイケーブルが正しく接続されているか確認してください。17 型 CRT をお使いの方は、ディスプレイ用電源ケーブルの接続も確認してください。 上記を確認してもディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しない場合は、ディスプレイの電源ボタン※を押して電源を入れた後、パソコンを再起動してください。再起動については、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧ください。 ※ 17 型ワイド液晶ディスプレイ、15 型液晶ディスプレイにはありません。
リフレッシュレートや解像度が正しく設定されていない	電源ランプがオレンジ色に点灯している場合は、「④ リフレッシュレートを変更する」（••▶ P.17）をご覧になり、設定を変更してください。その後、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.19）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。
ディスプレイの明るさが正しく設定されていない	ディスプレイについているボタンで、調整してください。 L シリーズをお使いの方は、パソコン本体のつまみで調整してください。

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり電源を入れ直してください。

［BIBLO の場合］

原因	対処
外部ディスプレイを使うように設定されている	【Fn】を押しながら【F10】を何度か押してください。【Fn】を押しながら【F10】を押すたびに、外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。
テレビにのみ表示するように設定されている（LOOX S シリーズを除く）	テレビを接続し、もう一度ディスプレイの表示を切り替えてください。切り替え方法については、次の POINT「ディスプレイの表示を切り替える」（••▶ P.13）をご覧ください。
ディスプレイの明るさが正しく設定されていない	【Fn】を押しながら【F6】、または【Fn】を押しながら【F7】を押して調整してください。

POINT

ディスプレイの表示を切り替える

パソコンにテレビを接続した後、次の操作を行ってください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
3. 「画面」タブ（お使いの機種によっては「Intel(R)Graphics Technology」タブ）をクリックし、表示するディスプレイの設定を変更します。
   「Intel(R)Graphics Technology」タブをクリックした場合は、その後「グラフィックのプロパティ」→「デバイス」タブの順にクリックして変更する画面を表示してください。
4. 「OK」をクリックし、表示されているすべてのウィンドウを閉じます。
   「ATI プロパティページ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、電源を入れ直してください。

Q パソコンを使っていたら、画面が真っ暗になった

A パソコンの省電力機能が働いている可能性があります。次の点を順番に確認してください。

省電力機能とは、パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、パソコン本体やディスプレイが消費する電力を自動的に減らして待機する機能です。
電源を入れてすぐに真っ暗な状態になるときは、「Q パソコンの電源は入るが、画面に何も表示されない」（••▶ P.12）をご覧ください。

[DESKPOWER の場合]

■ パソコン本体の電源ランプが消灯

原因	対処
パソコン本体の電源ケーブルが外れている	『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、電源ケーブルの接続を確認してください。

■ パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯

原因	対処
省電力機能が働いている	マウスを動かして数秒待つか、キーボードのスタンバイボタンを押してください。省電力機能が働いた状態から復帰します。

■ パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯

原因	対処
ディスプレイのケーブルが外れている（L シリーズを除く）	『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、ディスプレイのケーブルの接続を確認してください。

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、電源を入れ直してください。

[BIBLO の場合]

状態表示 LED/LCD の表示により対処法が異なります。

■ ⏻ が点灯

原因	対処
省電力機能が働いている	・フラットポイントに触れてください。 ・LOOX シリーズをお使いの場合は、クイックポイント IV のスティックを動かしてください。

■ ⏻ が点滅

原因	対処
スタンバイ状態になっている（省電力機能が働いている）	電源ボタン（SUS/RES スイッチ）を押してください。

■ ⏻が消灯、または表示なし

原因	対処
電源が入っていない	電源ボタン（SUS/RES スイッチ）を押してください。

また、パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、電源を入れ直してください。
バッテリをお使いの場合は、AC アダプタを接続してください。これで画面が表示できれば、バッテリが原因とも考えられます。この後、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧になり、バッテリの状態などをご確認ください。

Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る 他）

A パソコンの電源を入れると、メッセージが表示されたり、「ピッ」というようなビープ音が鳴ったりして Windows が起動しないことがあります。

電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返す場合は、「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」（••▶ P.18）をご覧ください。

■ メッセージが表示される場合

DESKPOWER をお使いで、画面やディスプレイが次のような状態になっている場合は、解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。「④ リフレッシュレートを変更する」（••▶ P.17）や「⑤ 解像度や発色数を変更する」（••▶ P.17）をご覧になり、設定を変更してください。

- 「Signal frequency is out of range」と画面に表示された（17 型 CRT）
- 「規定外の信号です」「規定外の信号が入力されました」と画面に表示された（液晶ディスプレイ）

フロッピーディスクをセットしたままになっている場合は、取り出して [Enter] を押してください。それでも Windows が起動しない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、いったんパソコンの電源を切った後、次のことを順番に試してください。

① パソコンとディスプレイの接続を確認する［DESKPOWER C シリーズ、DESKPOWER CE シリーズ］

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、パソコンとディスプレイを正しく接続してください。

② パソコンと周辺機器の接続を確認する

パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外してください。その後、パソコンの電源を入れ直してください。

③ BIOS をご購入時の状態に戻す

1. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら [F2] を押します。
2. BIOS の標準設定（または標準設定値）を読み込みます。
   DESKPOWER L シリーズ、C シリーズ（C26WC/F を除く）、BIBLO をお使いの方は、「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで [Enter] を押します。
   DESKPOWER C26WC/F、CE シリーズをお使いの方は、「標準設定」を選んで [Enter] を押します。
3. DESKPOWER をお使いの方は、[Y] を押して [Enter] を押します。
   BIBLO をお使いの方は、「はい」を選んで [Enter] を押します。
4. DESKPOWER をお使いの方は、内蔵デバイスの設定を行います。
   BIBLO をお使いの方は、手順 5 へ進んでください。
   ［DESKPOWER L シリーズをお使いの場合］
   ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は、「詳細」メニュー→「内蔵デバイス設定」の順に選んで、「LAN コントローラ」を「使用しない」に設定します。その後、[Esc] を押します。
   Windows XP Professional をお使いの場合は、「起動」メニューの「サーバからの起動」を「使用する」に設定します。

それ以外の方は、手順 5 へ進んでください。

［DESKPOWER C26WC/F をお使いの場合］

「詳細」メニュー→「内蔵デバイス設定」の順に選んで、「USB コントローラ」を「5 ポート」に設定します。その後、【Esc】を押します。

［DESKPOWER C シリーズをお使いの場合（C26WC/F を除く）］

17 型ワイド液晶ディスプレイ（i-Panel 付き）以外のディスプレイをお使いの方は、「詳細」メニュー→「内蔵デバイス設定」の順に選んで、「USB ポート数」を「4 ポート」に設定します。その後、【Esc】を押します。

Windows XP Professional をお使いの方は、「起動」メニューの「サーバからの起動」を「使用する」に設定します。

それ以外の方は、手順 5 へ進んでください。

［DESKPOWER CE シリーズをお使いの場合］

17 型ワイド液晶ディスプレイ（i-Panel 付き）以外のディスプレイをお使いの方は、「詳細」メニュー→「内蔵デバイス設定」の順に選んで、「USB ポート数」を「4 Ports」に設定します。その後、【Esc】を押します。

それ以外の方は、手順 5 へ進んでください。

5. 設定の変更を保存します。

   DESKPOWER をお使いの方は、「終了」メニュー→「変更を保存して終了する（再起動）」の順に選んで【Enter】を押します。

   BIBLO をお使いの方は、「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。

6. DESKPOWER をお使いの方は、【Y】を押して【Enter】を押します。

   BIBLO をお使いの方は、「はい」を選んで【Enter】を押します。

   パソコンが再起動します。

④ リフレッシュレートを変更する

1. 「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、パソコンの電源を切ります。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面の後、すぐ【F8】を押します。
4. 【↑】【↓】で「VGA モードを有効にする」を選択し、【Enter】を押します。
5. 「オペレーティングシステムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します。画面が表示されるまでお待ちください。
6. 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
7. 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。
8. 「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の右の【∨】をクリックしてリフレッシュレートの値を選択します。
9. 「OK」をクリックします。
10. 「モニタの設定」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

    「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
11. 「OK」をクリックします。

⑤ 解像度や発色数を変更する

「④ リフレッシュレートを変更する」（••▶ P.17）の手順 1 ～ 5 を行ってパソコンを起動した後、画面が表示されたら、「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.19）の手順をご覧になり、ご購入時の解像度と発色数に設定してください。

⑥ パソコンをご購入時の状態に戻す

上記のことを試してもエラーメッセージが表示されたり、Windowsが正常に起動しなかったりする場合は、Windows のシステムが壊れている可能性があります。リカバリディスクを使って、パソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.49）をご覧ください。

■ メッセージが表示されず、ビープ音が鳴っている場合

メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けてあるか確認してください。

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にもご連絡ください。市販のメモリを増設している場合は、製造元・販売元にもご確認ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す

A Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなることがあります。
次の手順に従って電源を切り、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。
   ［DESKPOWER、BIBLO（LOOX シリーズを除く）の場合］
   電源ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
   ［BIBLO LOOX シリーズの場合］
   本体背面の強制終了スイッチをボールペンの先などで押してください。
2. 「「リカバリディスク」を実行する」（P.55）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻します。

3 画面の表示がおかしい、操作ができないトラブル

Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど）

A 次の点を順番に確認してください。

■ **近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありませんか？**

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。
高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

■ **ディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？[DESKPOWER C シリーズ、DESKPOWER CE シリーズ]**

『パソコンの準備』→「接続する」をご覧になり、ディスプレイケーブルを正しく接続してください。

■ **ディスプレイの調整は正しいですか？［DESKPOWER］**

お使いのディスプレイに付いているボタンで調整してください。L シリーズをお使い方は、パソコン本体のつまみで調整してください。

■ **解像度や発色数の設定が変わっていませんか？**

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じることがあります。また、BIBLO をお使いの場合、全画面表示に設定されていると、画像がぼやけたように見えることがあります。次の手順に従って設定し直してください。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

2 「設定」タブをクリックし、解像度や発色数を変更します。

左右にドラッグして解像度を変更します。

クリックして発色数を変更します。

（画面は機種や状況により異なります）

ご購入時に設定されている解像度と発色数については、「［ご購入時の解像度と発色数]」（••▶ P.21）をご覧ください。
表示可能な解像度と発色数については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコンの設定」→「画面の解像度と発色数」をご覧ください。

3 設定が終了したら「OK」をクリックします。

画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

POINT

「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は

次のように操作してください。

1. 「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」をクリックしてにし、「OK」をクリックします。
2. 「システム設定の変更」ウィンドウで「はい」をクリックします。

パソコンが再起動します。これで設定は終了です。手順 4、5 は必要ありません。

4 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

5 「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動します。

[ご購入時の解像度と発色数]

機種名（品名）	解像度	発色数
DESKPOWER L シリーズ、C26WC/F、C24WC/M、CE21WC/M	1280 × 768	最高（32 ビット）
DESKPOWER C24SC/M、	1280 × 1024	最高（32 ビット）
DESKPOWER C24C/R、C24C、C20C、CE シリーズ（CE21WC/M、CE21CN を除く）	1024 × 768	最高（32 ビット）
DESKPOWER C24CN、CE21CN		
17 型ワイド液晶ディスプレイの方	1280 × 768	最高（32 ビット）
16 型液晶ディスプレイの方	1280 × 1024	最高（32 ビット）
15 型液晶ディスプレイ、17 型 CRT の方	1024 × 768	最高（32 ビット）
ディスプレイなしの方	※	※
BIBLO NH26C、NH26CN	1400 × 1050	中（16 ビット）
BIBLO NH24C、BIBLO NB シリーズ、BIBLO MG シリーズ	1024 × 768	中（16 ビット）
BIBLO LOOX T シリーズ	1280 × 768	中（16 ビット）
BIBLO LOOX S シリーズ	1024 × 600	中（16 ビット）

※ お使いのディスプレイにより表示できる解像度と発色数が異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

■ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレイドライバに置き換えられた可能性があります。
「Q ドライバを更新する」（••▶ P.36）をご覧になり、ディスプレイドライバを設定し直してください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、（サービスアシスタント）の最初の画面で「トラブル解決」をクリックし、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。
ハードウェアなどに問題がなかった場合は、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.49）をご覧になり、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。

Q 操作中に画面が動かなくなった

A 操作していたアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションが強制終了できない場合は、強制的に再起動したり、強制的に電源を入れ直します。

重 要

直前の作業内容は保存されません
この手順でアプリケーションを強制終了した場合や、電源を切った場合は、直前の作業内容は保存されません。

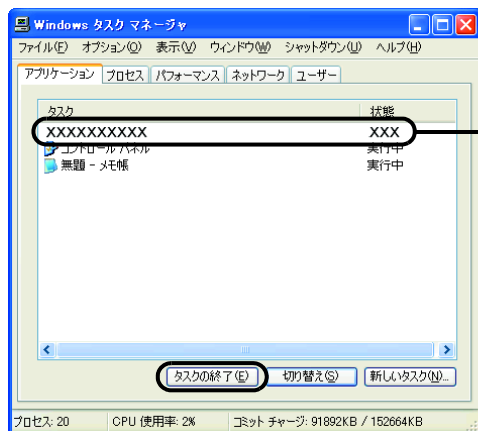
■ アプリケーションを強制終了する

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。
「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2「アプリケーション」タブをクリックします。

3 動かなくなったアプリケーションをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。

Windows タスク マネージャ
ファイル(F) オプション(O) 表示(V) ウィンドウ(W) シャットダウン(U) ヘルプ(H)
アプリケーション プロセス パフォーマンス ネットワーク ユーザー
タスク 状態
XXXXXXXXXX XXX
コントロール パネル 実行中
無題 - メモ帳 実行中
タスクの終了(E) 切り替え(S) 新しいタスク(N)...
プロセス: 20 CPU 使用率: 2% コミット チャージ: 91892KB / 152664KB

強制終了したいアプリケーションをクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

4 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。
選んだアプリケーションが強制終了されます。アプリケーションによっては、強制終了に 20 ～ 30 秒かかることがあります。

5「この問題を Microsoft に報告してください」というメッセージが表示された場合は、「送信しない」をクリックします。

6「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの ☒ をクリックします。

アプリケーションが強制終了できない場合は、次の「Windows を強制的に再起動する」（→ P.23）をご覧になり、Windows を強制的に再起動してください。

■ Windows を強制的に再起動する

1 Ctrl と Alt を押しながら Delete を 1 回押します。

「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「シャットダウン」メニュー→「再起動」の順にクリックします。

「シャットダウン」メニューから「再起動」が選べないときは、POINT「「シャットダウン」メニューから選べないときは」をご覧ください。

3 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。

前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、電源を入れ直してください。

POINT

「シャットダウン」メニューから選べないときは

画面が見えない、マウス／フラットポイント／クイックポイント IV が使えないなどの理由でメニューから「再起動」が選べないときは、次の手順に従ってキーボードで操作してください。

1. 「Windows を強制的に再起動する」の手順 1 の後、Alt を押しながら U を押します。
2. R を押します。
   パソコンが再起動します。
3. 前記の手順で再起動ができない場合は、「Q どうしても電源が切れない」（••▶ P.24）をご覧になり、電源を入れ直してください。

ディスクをチェックする

アプリケーションや Windows を強制終了した場合は、以下の手順でドライブをチェックすることをお勧めします。

1. 実行中のプログラムをすべて終了します。
2. デスクトップの（マイコンピュータ）をクリックします。
3. プログラムをインストールしてあるドライブ（ご購入時は C ）を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
4. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
5. 「ディスクのチェックローカルディスク」ウィンドウで「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」の□をクリックして☑にし、「開始」をクリックします。
   【C ドライブをチェックする場合】
   「次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか ?」と表示されます。
   「はい」をクリックし、「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
   その後「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動し、エラーのチェックが行われます。

   【C ドライブ以外をチェックする場合】
   ドライブのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されるので、次のように操作します。
   1. 「OK」をクリックします。
   2. 「ローカルディスクのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。
   3. 「マイコンピュータ」ウィンドウの ☒ をクリックして閉じます。

Q どうしても電源が切れない

A 「Q 操作中に画面が動かなくなった」（→ P.22）の操作を行っても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

重 要

強制的に電源を切る前に

次の点に注意してください。

・ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れる可能性があります。
　強制的に電源を切るときは、ハードディスクアクセスランプ（BIBLO では状態表示 LED/LCD の ）が、ハードディスクが動作しているかどうかの目安となります。点灯している場合は、ハードディスクのデータを読み書きしている可能性があるため、しばらく待つことをお勧めします。
　上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。

・ご購入後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
　画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。

2 パソコンの電源を切ります。

［DESKPOWER、BIBLO （LOOX シリーズを除く）の場合］

電源ボタンを 4 秒以上（電源ランプが消えるまで）押し続けてください。

［BIBLO LOOX シリーズの場合］

本体背面の強制終了スイッチをボールペンの先などで押してください。

3 この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってください。

POINT

「Checking file system on C:」と表示された場合

アプリケーションを強制終了した後、または強制終了できずに電源を切った後は、次に Windows を起動したときに「Checking file system on C:」と表示される場合があります。自動的に Windows やハードディスクの状態がチェックされ、必要に応じて修復が行われます。

エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示された場合は、メッセージに従って修復してください。

Q マウスポインタが動かない

A 次の点を確認してください。

[DESKPOWER の場合]

■ ワイヤレスマウスが使えなくなっていませんか？

ワイヤレスマウスをお使いの場合は、「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］」（••▶ P.31）もあわせてご覧になり、確認してください。

■ 光学式のマウスが使えなくなっていませんか？

光学式のマウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
・光沢があるもの
・濃淡のはっきりした紋模様や柄のもの
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

■ マウスのすべりが悪くなっていませんか？（ワイヤレスマウスのみ）

マウスの裏にあるボールが汚れていたり、ローラー部分にゴミがたまったりすると、すべりが悪くなりマウスポインタがなめらかに動かせなくなる場合があります。
ボール式のマウスのお手入れのしかたについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「お手入れ」→「ハードウェアのお手入れ」→「マウスのお手入れ」をご覧ください。

■ スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？

クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。
知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見える場合があります。
添付のマウスのスクロールボタンの使い方については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「マウスを使う」をご覧ください。

■ アプリケーションの操作中でしたか？

アプリケーションを強制終了し、パソコンを再起動してください。
「Q 操作中に画面が動かなくなった」（••▶ P.22）

■ マウスは正しく接続されていますか？（ワイヤレスマウスを除く）

マウスの接続がゆるんでいると、マウスでの操作ができなくなります。
次の手順に従ってキーボードで Windows を終了し、パソコンの電源を切ってください。その後、接続し直してください。

1 [Windows] を押すか、または [Ctrl] を押しながら [Esc] を押します。
「スタート」メニューが表示されます。

2 [U] を押します。
「コンピュータの電源を切る」ウィンドウが表示されます。

3 [U] を押します。
電源が切れます。

キーボードも使えない場合は、「Q どうしても電源が切れない」(••▶ P.24)をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。
マウス、キーボードの接続方法については、『パソコンの準備』→「接続する」をご覧ください。

[BIBLO の場合]

■ フラットポイントが汚れていませんか?(LOOX シリーズを除く)

フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。
電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

■ アプリケーションの操作中でしたか?

アプリケーションを強制終了し、パソコンを再起動してください。
「Q 操作中に画面が動かなくなった」(••▶ P.22)

■ マウスを接続しましたか?

USB マウスを接続した状態でフラットポイント/クイックポイント IV を無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイント/クイックポイント IV で操作ができなくなります。
フラットポイント/クイックポイント IV の有効と無効を切り替えてください。
【Fn】を押しながら【F4】を押して切り替えることもできます。
フラットポイント/クイックポイント IV が有効の場合は「Internal pointing device:Enabled」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。
また、マウスを接続してお使いの場合は、「[DESKPOWER の場合]」(••▶ P.25)の項目も必要に応じてご確認ください。
マウスの接続方法については、(サービスアシスタント)の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「マウスを接続する」をご覧ください。

POINT

BIOS セットアップのパスワードを設定した場合

スタンバイから復帰(レジューム)したとき、フラットポイント/クイックポイント IV やマウスが使えない場合があります。BIOS セットアップで設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

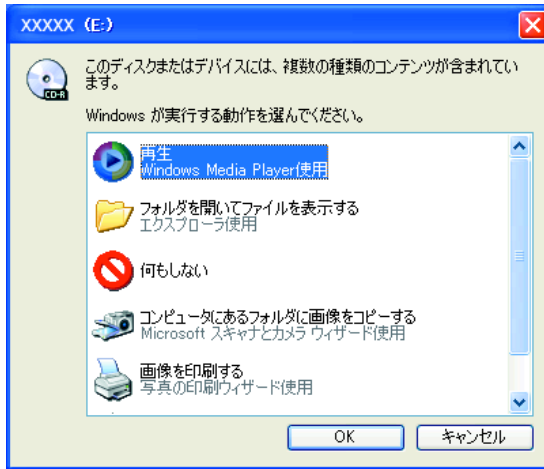
Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された

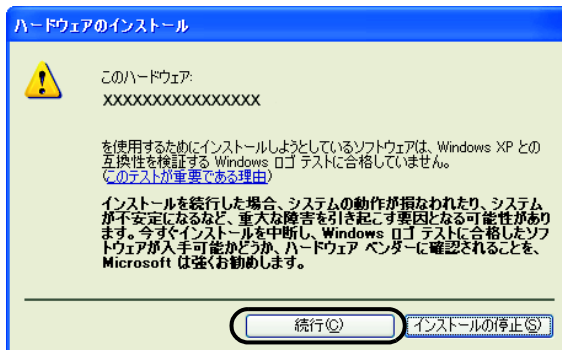
A Windows の操作中に、突然メッセージ画面が表示されることがあります。操作を続けるには、表示された内容に応じて、次のように対処してください。

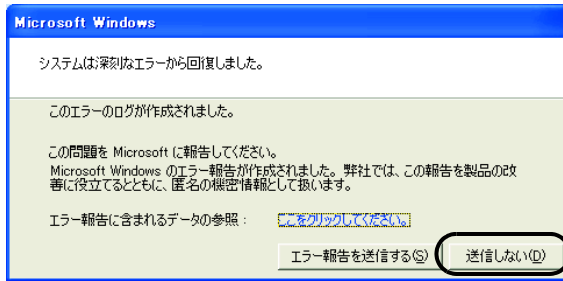
表示内容はお使いの状況によって変わります。これ以外のメッセージ画面については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」をご覧ください。

■「･･･Windowsが実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示された

お使いの状況に応じた動作を選択し、「OK」をクリックします。どの動作かわからない場合は、「何もしない」をクリックし、「OK」をクリックしてください。

「常に選択した動作を行う。」と表示されている場合は、□をクリックして☑にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

■「このハードウェア××××××を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは・・・」というメッセージが表示された

そのまま操作を続けるには、「続行」をクリックします。

■「・・・この問題を Microsoft に報告してください。・・・」というメッセージが表示された

「送信しない」をクリックします。

■「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」という画面が表示された

「キャンセル」をクリックします。
「次へ」をクリックして実行すると、デスクトップがクリーンアップされ、使っていないショートカットがデスクトップから見えなくなります。これは「使用していないショートカット」フォルダにまとめて移動されたためです。

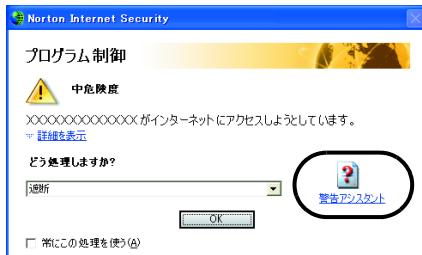
POINT

「デスクトップクリーンアップウィザード」を表示したくないときは

今後「デスクトップクリーンアップウィザードの開始」という画面を表示しないようにするには、次の手順に従って操作してください。

1. デスクトップの何もないところで右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「デスクトップ」タブをクリックし、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックします。
3. 「デスクトップ項目」ウィンドウで「60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する」の☑をクリックして☐にし、「OK」をクリックします。
4. 「画面のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

■「プログラム制御」のウィンドウが表示された

このウィンドウは、Norton Internet Security によって、インターネットへのアクセスが監視されているために表示されます。操作を進めるためには、ウィンドウが表示されたアプリケーションごとに適切な処理を選ぶ必要があります。
処理のしかたについては、「警告アシスタント」をクリックし「インターネットアクセス制御警告」についての説明をご覧になるか、必要に応じて Norton Internet Security のヘルプをご覧になり、ご自身で判断してください。

POINT

「mad.exe」について

「mad.exe」は、サービスアシスタントが使用しているプログラムです。セキュリティ上の問題はありませんので、▼をクリックして「許可」を選択した後、「常にこの処理を使う」の☐をクリックして☑にし、「OK」をクリックして先に進んでください。

Q CATV インターネットなどで接続しているときに、サービスアシスタントが起動しない

A 一部の CATV インターネットやネットワーク環境において、Internet Explorer の画面内にエラーが表示されて、サービスアシスタントが起動できないことがあります。

「サービスアシスタント起動時のエラーについて」（••▶ P.6）をご覧ください。

Q 音が聞こえない

A 次の点を確認してください。

■ 音量ボリュームが最小またはミュート状態になっていませんか？

最小またはミュート状態の場合は、適当な音量に設定するか、ミュートを解除してください。
音量の調整方法は、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「音楽・音声」→「音量を調節する」をご覧ください。

■ スピーカーは正しく接続／調節されていますか？（スピーカー添付の機種のみ）

パソコンに添付のスピーカーをお使いの場合は、次の点を確認してください。

・スピーカーが正しく接続されているか
・スピーカーの電源が入っているか
・スピーカーの音量が正しく調節されているか

スピーカーの接続方法については、『パソコンの準備』をご覧ください。

■ 省電力機能が有効になっていますか？（BIBLO LOOX シリーズのみ）

省電力機能が有効になっていると、次のような現象が起こることがあります。「SigmaTel Audio」の設定を確認してください。

・音声の再生時に、ポツという雑音が発生する。
・一定時間音声を再生しないと、マイクなどの音声が聞こえなくなる。

設定の変更方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコンの設定」→「省電力機能を設定する」をご覧ください。

Q 周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

A 次の点を確認してください。

■ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

■ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定などが正しくされているか確認してください。
詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

■ 周辺機器がお使いのパソコンに対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」をご覧ください。

POINT

ACPI について

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって動作していますので、周辺機器も ACPI に対応したものをお使いください。スタンバイ状態での省電力機能のレベルのことを S1、S3 などと表わします。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。
このパソコンは、ACPI のうち S1 には対応していません。S1 にのみ対応した周辺機器をお使いの場合は、パソコンをスタンバイ／休止状態にしないでください。
スタンバイ／休止状態については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「省電力機能を使う」をご覧ください。

正常に起動したときの設定に戻す

周辺機器を取り付けた後で、Windows が起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windows を起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面の後、すぐ【F8】を押します。
4. 【↑】【↓】で、「前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）」を選択し、【Enter】を押します。
5. 「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されたら、【Enter】を押します。

これで、前回正常起動時の構成を利用して Windows が起動します。

Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］

A パソコンに添付されているワイヤレスキーボードをお使いの方は、次の点を順番に確認してください。

重 要

キーボード／マウスアンテナについて

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、キーボード／マウスアンテナに無線で信号を送っています。キーボード／マウスアンテナは、17 型ワイド液晶ディスプレイに内蔵されています。DESKPOWER L シリーズをお使いの方は、パソコン本体に内蔵されています。
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの適切な配置について、『パソコンの準備』→「目的に合わせて接続／設定する」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」もご確認ください。

■ 周辺の環境を確認してください

① キーボード／マウスアンテナとワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの間に、物を置いていませんか？

電波の受信感度が悪くなる可能性があります。間には物を置かないようにしてください。

② 本体周辺に金属製の物（机の種類がスチール製、金属部分がある机など）がないですか？

電波が金属により反射し、うまく受信できないことがあります。金属物を取り除いてください。

③ パソコン周辺に、ラジコンや無線機器などこのパソコンと同じ周波数の電波を発する物はありませんか？

微弱電波を使用しているため、打ち消されて、うまく受信できない場合があります。パソコンの設置位置を変えてみてください。

④キーボード／マウスアンテナとワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスとの距離は適正な距離ですか？

規格は 1m 以内です。距離を短くして使用してください。

⑤ 液晶ディスプレイとパソコン本体が正常に接続されていますか？（L シリーズを除く）

電源を切り、パソコン本体の付属液晶ディスプレイ専用コネクタからディスプレイのケーブルを取り外します。その後、もう一度ディスプレイのケーブルを取り付け直してください。

⑥ 起動時にインジケータの NumLock は点灯しましたか？（L シリーズを除く）

電源を切り、パソコン本体の付属液晶ディスプレイ専用コネクタからディスプレイのケーブルを取り外します。その後、もう一度ディスプレイのケーブルを取り付け直してください。

⑦ パソコンに USB 機器を接続していませんか？

接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。
USB 機器のマニュアルの中に記載されている対応 OS を確認してください。
今お使いの OS にドライバが対応していない場合は、USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバを入手してください。ドライバをいったん削除し、再度、対応のドライバをインストールし直してください。

⑧ 液晶ディスプレイの USB ハブに USB 機器を接続していませんか？（L シリーズを除く）

USB 機器によっては、液晶ディスプレイの USB ハブに接続すると、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに影響を与えることがあります。その場合は、パソコン本体に接続してください。

■ 電池を確認してください

① 電池の向き（極性）は指示通りですか？

＋、－の極性が指示通り正しくセットされていないと、正常に動作しません。

② 電池はアルカリ乾電池を使用していますか？

マンガン乾電池や、充電池等、アルカリ乾電池以外のものを使用すると正常に動作しない場合があります。アルカリ乾電池を使用してください。

③ 電池の寿命は大丈夫ですか？

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの電池が消耗すると、パソコン本体またはディスプレイのインジケータが点滅します。

・ワイヤレスキーボードの電池が残り少ない
　インジケータの Num Lock、Caps Lock が点滅
・ワイヤレスマウスの電池が残り少ない
　インジケータの Caps Lock、Scroll Lock が点滅
・ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの電池が残り少ない
　インジケータの Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock が点滅

また、17 型ワイド液晶ディスプレイ（i-Panel 付き）をお使いで、パソコンに「i-Panel の設定」がインストールされている場合は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの乾電池が消耗したときに、ディスプレイの i-Panel に「乾電池を交換してください」というメッセージが表示されます。

インジケータが点滅したり、i-Panel にメッセージが表示されたりした場合は、新しい電池を 2 個セットで交換してください。

ワイヤレスキーボード：単3アルカリ乾電池2個
ワイヤレスマウス：単4アルカリ乾電池2個

④電池の使用推奨期限は過ぎていませんか？

電池には、使用推奨期限が明記されています。お使いの電池の使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しない場合があります。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの通信周波数 ／ ID を変更した方は、以下も確認してください。

■ 通信周波数 ／ ID 設定値を確認してください

① 以前に通信周波数 ／ ID を変更した後、電池を交換したことはないですか？

キーボード／マウスアンテナは、以前の通信周波数 ／ ID を保持しています。また、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスは、電池を抜くと通信周波数 ／ ID を保持できず、リセットされてしまいます。

『パソコンの準備』→「目的に合わせて接続／設定する」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」→「通信周波数 ／ ID 設定値について」をご覧になり、すべての通信周波数 ／ ID 設定値をリセットし、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））に設定してください。

② ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンが近くにないですか？

近くで電波式のワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場合、電波が混信することがあります。混信を避けるためには、別の通信周波数 ／ ID に設定する必要があります。

通信周波数 ／ ID の設定のしかたについては、『パソコンの準備』→「目的に合わせて接続／設定する」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」→「通信周波数 ／ ID 設定値について」をご覧ください。

■ **通信周波数／ID 設定値をリセットし、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））にしてください**

すべての通信周波数／ID 設定値をリセットすることにより、初期値（チャンネル A / ID0（ゼロ））に戻ります。

通信周波数／ID 設定値のリセットのしかたについては、『パソコンの準備』→「目的に合わせて接続／設定する」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスについて」→「通信周波数／ID 設定値について」をご覧ください。

以上の点を確認してもワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えない場合は、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.49）をご覧になり、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。

Q ワイヤレスキーボードのキーやボタンを押していないのに、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする［DESKPOWER］

A ワイヤレスキーボードの通信状態が悪化したためです。次の点を順番に確認してください。

■ **操作中にワイヤレスキーボードを移動しましたか？**

ワイヤレスキーボードを元の位置に戻してもう一度同じキーまたはボタンを押してください。

■ **周辺の環境が変わりましたか？**

周辺の環境を確認して通信可能な状態にし、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。
周辺の環境の確認点については、「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった［DESKPOWER］」（••▶ P.31）をご覧ください。

Q 状態表示 LED/LCD がおかしい［BIBLO］

A 状態によって対処法が異なります。

■ **が赤く点灯／点滅している（NH シリーズのみ）**

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。
AC アダプタを接続し、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

■ **や の点滅が止まらない（NH シリーズを除く）**

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていない、などの原因が考えられます。
AC アダプタを接続し、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

■ CD/DVD をセットしていないのに が点滅している

故障ではありません。これは、Windows がパソコンに CD/DVD が入っているかどうか定期的に調べているためです。

Q パソコンが熱い［BIBLO］

A テレビやビデオなどの家電製品と同じように、パソコンも長時間お使いになると熱く感じられることがありますが、故障ではありません。

キーボードの上にかぶさるように物を置くなどの、放熱を妨げる行為をしないでください。

Q バッテリが充電されない［BIBLO］

A 次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

原因	対処
バッテリが外れている	内蔵バッテリパックの交換方法は、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。
AC アダプタが外れている	コンセントおよびパソコン本体に正しく接続し直してください。 『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」→「AC アダプタを接続する」をご覧ください。
パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている（状態表示 LED/LCD のバッテリ充電表示が点滅）	保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。
パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている（状態表示LED/LCD のバッテリ充電表示が点滅）	パソコンを暖かいところに置いて、AC アダプタを接続し直してください。 バッテリの温度が 5 ℃以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。

POINT

バッテリが 90%以上残っているとき

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

バッテリについて詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

Q ハードディスクからカシャカシャという音がする［BIBLO］

A 次のような場合に、ハードディスクからカシャカシャという音がすることがあります。

- Windows を終了した直後
- スタンバイや休止状態にした直後
- パソコンの操作を一時中断した場合（ハードディスクへのアクセスが数秒間なかった場合）
- 操作を中断した状態から、再度パソコンを操作した場合
- パソコンを操作しない場合でも、常駐しているアプリケーションなどが動作した場合（ハードディスクへのアクセスがあった場合）

これはハードディスクの特性です。故障ではありませんので、そのままお使いください。

Q 画面に表示しきれない部分がある［BIBLO LOOX S シリーズのみ］

A お使いのアプリケーションによっては、画面いっぱいに表示させているのに、一部表示が切れてしまうことがあります。
このようなときは、解像度を 1024 × 768 ピクセルに変更し、マウスポインタを動かして画面をスクロールさせ、隠れている部分を表示させてください。

解像度の変更のしかたについては、「Q 画面が乱れる（画像が揺れる、色がずれる、画像がちらつく、画像がぼやけるなど）」の「解像度や発色数の設定が変わっていませんか？」（••▶ P.19）をご覧ください。

4 こんなことがしたい

Q ドライバを更新する

A サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。

重 要

ドライバを更新する前に
ドライバを更新する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
スクリーンセーバーを設定している場合は、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」をご覧になり、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

■ ドライバのある場所

富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）

ドライバが新しく開発された場合には、随時最新版のドライバが用意されています。

※ 各ドライバは、ご購入時に添付されているドライバよりも、改善のため事前連絡なしに新しいバージョンのドライバが開発されていることがあります。ご了承ください。

添付の「アプリケーションディスク」

2002 年 12 月時点でのドライバが用意されています。
添付の「アプリケーションディスク 1」が DVD か CD かによって、ドライバが収録されているディスクが異なります。「アプリケーションディスク 1」を確認してください。

[「アプリケーションディスク 1」に（DVD）と書いてある場合]
「アプリケーションディスク 1」に、ご購入時のドライバが収録されています。
[「アプリケーションディスク 1」に（CD）と書いてある場合]
「アプリケーションディスク 2」に、ご購入時のドライバが収録されています。

ご購入時のドライバとそのフォルダ名については、ディスクの中の（Indexcd）というファイルをクリックしてご確認ください。
また、ご購入時よりも新しいドライバが「アプリケーションディスク 2」の（Update）というフォルダの中に用意されている場合があります。（Update）フォルダもご確認になり、ドライバがある場合はこちらをお使いください。

※ 各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。ドライバが変更された場合は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）で随時最新版を公開します。

その他

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■ 「アプリケーションディスク」からドライバを更新する場合

（Indexcd）をクリックして開くと、次のような表が表示されます。この表から、お使いの機種に対応するドライバを調べて更新してください。

フォルダ / ファイル名	CD 内容一覧	適応機種		
		CXXABC	CXXDE	CEXXFG
¥Atmail	@メール	●	●	●
¥Atmenu	@メニュー	●	●	●
¥Fx52z2	モデムドライバ（FMV-FX52Z2(D)）	●	●	●
〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜	〜〜〜

この表は一例です。実際の表とは内容が異なります。

［表の見かた］

1 「CD 内容一覧」欄から必要なドライバを探します。「適応機種」欄で、お使いの機種に対応しているか（●がついているか）どうか確認してください。

2 「フォルダ / ファイル名」欄で、ドライバが入っているフォルダ名を確認します。
ドライバを更新するときはこのフォルダを開き、readme.txt や install.txt を参照してください。インストールに必要な注意事項や手順が書かれています。

インストール手順ファイル（readme.txt または install.txt）を参照してドライバを更新するとき、次の点に気をつけてください。

・ドライバは「更新」の手順に従ってください。
・フロッピーディスクを使用するように記述されていても、アプリケーションディスクをお使いください。

Q 最小限の機能で起動する（セーフモード）

A パソコンに何らかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できます。次の手順に従って操作してください。

1 パソコンの電源を入れます。
電源が入っている場合は再起動します。

2 FUJITSU のロゴ画面の後、すぐ【F8】を押します。

POINT

【F8】を押すのが遅すぎた場合
セーフモードではなく、通常の状態で Windows が起動します。
次の操作を行い、手順 2（【F8】を押す）からやり直してください。
1.「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2.「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

3 【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

4「オペレーティングシステムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【Enter】を押します

POINT

「前回正常起動時の構成」とは
前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

この後、「開始するにはユーザー名をクリックしてください」というメッセージが表示された場合は、「Owner」をクリックします。

5 メッセージを確認し、「はい」をクリックします。
セーフモードで起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（••▶ P.49）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

Q　Dドライブの容量を増やしたい

A　「リカバリディスク」を使ってCドライブとDドライブの割合を変更することができます。

次の手順を参考にしてください。

重要

全データが削除されます

この操作をすると、ハードディスク内のすべてのデータ（Cドライブ、Dドライブ共に）が削除されます。「バックアップする」（••▶ P.42）をご覧になり、必要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

NTFS に設定されます

FAT32 に設定してある場合も、Cドライブ、Dドライブ共に自動で NTFS に変更されます。

ドライブの容量制限

Cドライブの最小サイズは 15GB、Dドライブの最小サイズは 10GB です。これより小さくすることはできません。

1 「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（••▶ P.55）の手順 1 ～ 8 を行います。

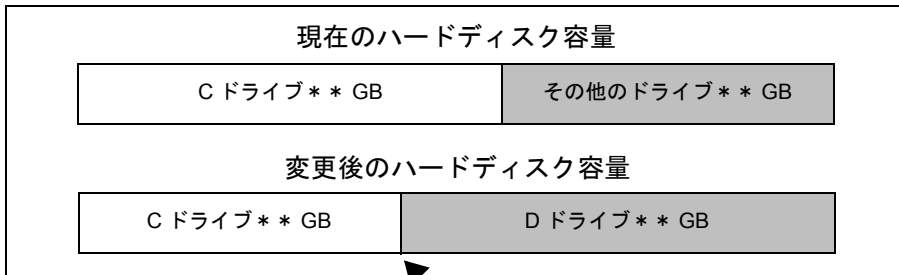
2 表示された項目から「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選んで【Enter】を押します。

3 「領域を任意に設定して戻す」を選び、【Enter】を押します。
画面に表示されるインジケータで容量を確認しながら、【→】／【←】でCドライブの容量を指定します。残りがDドライブになります。

現在のハードディスク容量

Cドライブ＊＊GB	その他のドライブ＊＊GB

変更後のハードディスク容量

Cドライブ＊＊GB	Dドライブ＊＊GB

【→】／【←】キーを押したときに、容量が変わったことを確認できます。

POINT

領域をご購入時の状態に戻したいときは

手順 3 で「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】を押してください。
この後は、「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順 10（••▶ P.58）へ進んでください。

4 容量を決めたら、【Enter】を押します。

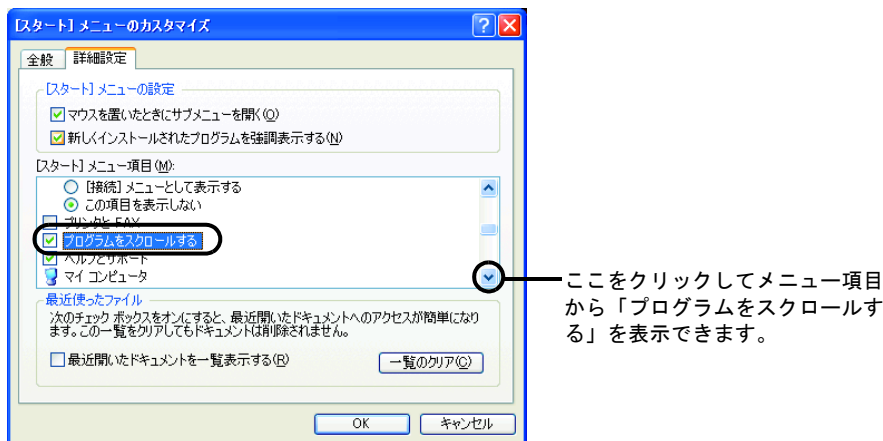
5 変更後のハードディスク容量を確認し、【Y】を押します。
画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルコピーが始まります。しばらくお待ちください。

6 この後は、「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」の手順 11（P.58）へ進んでください。

Q 「スタート」ボタンからプログラムを表示するとき画面からはみ出さないようにする

A 「すべてのプログラム」の表示方法を上下にスクロールするように変更することができます。次の手順に従って操作してください。

1. タスクバーを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
2. 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「[スタート］メニュー」タブをクリックします。
3. 1.［スタート］メニューの左が◉になっていることを確認し、2.「カスタマイズ」をクリックします。
4. 「[スタート］メニューのカスタマイズ」ウィンドウで「詳細設定」タブをクリックします。
5. 「[スタート］メニュー項目」で「プログラムをスクロールする」の☐をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。

ここをクリックしてメニュー項目から「プログラムをスクロールする」を表示できます。

6. 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

5 バックアップする

いざというときに備えて、重要と思われるファイルは、D ドライブやフロッピーディスクなどにコピーし、保存しておくことをお勧めします。この作業を「バックアップ」といいます。
このパソコンには、「FM かんたんバックアップ」というバックアップ用のアプリケーションが用意されています。

重 要

バックアップは定期的に行ってください
お使いのパソコンに何らかの不具合が起きてからファイルのバックアップを行うと、正しいファイルが保存されない場合があります。ファイルが壊れて開けない、パソコンが起動しない、といった不測のトラブルに備えて、日頃から定期的にバックアップを行う習慣をつけましょう。

Q ファイルをバックアップするには

A ファイルのバックアップには、次のような方法があります。保存したいファイルの種類などにあわせて、バックアップを行ってください。

■ FM かんたんバックアップ

インターネットの設定や E メール、お客様が作成したファイルなどを、簡単な操作でまとめてバックアップできるアプリケーションです。詳しくは、次の「Q 「FM かんたんバックアップ」とは」（••▶ P.43）をご覧ください。

■ ファイルのコピー

ハードディスクの中に保存されているファイルを、フロッピーディスクなどにコピーしてバックアップする方法です。ファイルのコピーについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「Windows の操作」→「ファイルやフォルダ」→「コピー」→「ファイルやフォルダをコピーしたい」をご覧ください。

Q「FM かんたんバックアップ」とは

A「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元が簡単にできます。

ただし、「FM かんたんバックアップ」では、お客様の作成したファイルがすべてバックアップされるわけではありません。「項目」欄に登録されていないアプリケーションで作成したファイルなど「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルは、必ずご自分でバックアップしてください。「FM かんたんバックアップ」で保存／復元できないファイルについては、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。
「FM かんたんバックアップ」で保存される内容は、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウの「保存」タブの「保存する内容」の一覧表で、よくご確認ください。

重 要

バックアップするファイルの保存先について

データの保存先は、ご購入時は「D」ドライブに設定されています。保存先は変更しないでください。「C」、「D」以外にハードディスクドライブやリムーバブルディスクドライブが存在する場合に限り、保存先のドライブは変更できます。ただし、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻すときにハードディスクの領域を変更する場合は、ハードディスク全体のファイルが削除されるので、このパソコンのハードディスクにバックアップしないでください。

ハードディスクの故障に備えてバックアップする場合は

ハードディスクが故障したときに備えてバックアップする場合は、外付ハードディスク、MO など、このパソコンのハードディスク以外にバックアップしてください。
「FM かんたんバックアップ」を使うと、ハードディスクにバックアップしたファイルを CD/DVD に簡単にコピーすることができるので便利です（BIBLO LOOX S シリーズを除く）。操作方法については、「Q「FM かんたんバックアップ」でバックアップするには」（••▶ P.44）をご覧ください。

ファイルを手動でコピーしてバックアップする場合は

フロッピーディスクなどにバックアップする場合は、「FM かんたんバックアップ」を使わず、ご自身でファイルをコピーしてバックアップしてください。ファイルのコピーについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「Windows の操作」→「ファイルやフォルダ」→「コピー」→「ファイルやフォルダをコピーしたい」をご覧ください。

複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

コントロールパネルの「ユーザーアカウント」で新しくユーザーを作成した場合、それぞれのユーザー名でログオンして作成したデータをバックアップできます。ただし、「制限」のユーザーがログオンして作成したデータは、バックアップできません。

POINT

「FM かんたんバックアップ」を使った復元について

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

Q 「FM かんたんバックアップ」でバックアップするには

A ワープロの文書や画像ファイルなど、アプリケーションを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順でバックアップします。

重 要

不具合が起きてからバックアップをとるときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをとらないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。
アプリケーションで作成したファイルだけをご自分でコピーしてバックアップをとってください。

1 起動中のアプリケーションをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。

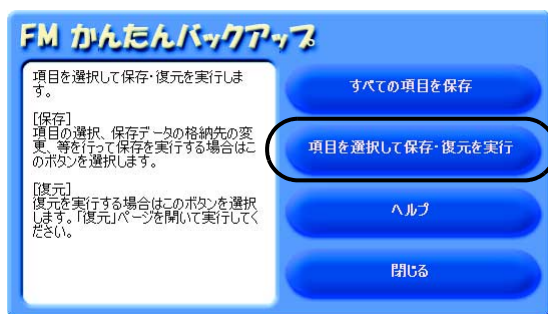
通知領域に常駐するタイプのアプリケーションも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」をご覧ください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。

「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップ（Backup）ボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

3 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

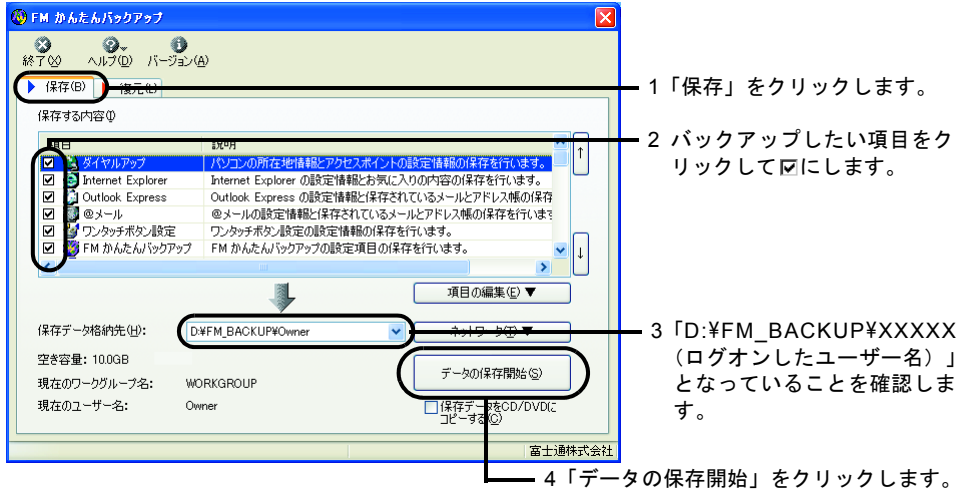
Internet Explorer やメールソフトの設定など、すべての項目を 1 度に保存したい場合は、「すべての項目を保存」をクリックし、手順 6 に進んでください。

5 1～4の手順に従って操作してください。

ハードディスクにバックアップしたデータを CD/DVD にコピーしたい場合は、「保存データを CD/DVD にコピーする」をクリックして☑にしてから「データの保存開始」をクリックしてください。その後は、画面の指示に従って操作してください。

1「保存」をクリックします。

2 バックアップしたい項目をクリックして☑にします。

3「D:¥FM_BACKUP¥XXXXX（ログオンしたユーザー名）」となっていることを確認します。

4「データの保存開始」をクリックします。

重要

CD/DVD へのコピーには「Drag'n Drop CD」が必要です

バックアップしたファイルを CD/DVD にコピーするには、「Drag'n Drop CD」というアプリケーションが必要です。「Drag'n Drop CD」は、DESKPOWER/BIBLO に標準で搭載されています（BIBLO LOOX S シリーズを除く）。詳しくは、「FM かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

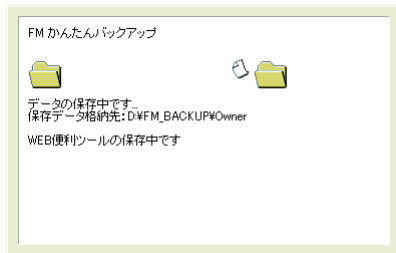
POINT

「既に保存したデータが存在します」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップデータが存在する場合に表示されます。以前のバックアップデータを破棄し、新しくバックアップするときは、「はい」をクリックしてください。

6「保存開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

7 データの保存が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

8「保存結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

9「終了」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」ウィンドウが閉じます。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、ファイルがバックアップされました。

Q 「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元するには

A 次の手順に従って「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルを元の場所に復元します。

重要

ご自分でバックアップしたファイルを復元するときは

バックアップしたときと同じように、ファイルを元の場所にコピーしてください。このとき、違う場所にコピーすると、使用できなかったり、別途設定が必要になる場合がありますのでご注意ください。

ご購入後にインストールしたアプリケーションのファイルを復元する場合

先にアプリケーションをインストールしてからファイルをコピーしてください。

復元する前の注意（ご購入時の状態に戻す作業の場合を除く）

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップしたときのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した内容や新しく作ったファイル、設定した内容はすべて消えてしまいます。十分に注意してください。

1 起動中のアプリケーションをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。
通知領域に常駐するタイプのアプリケーションも終了します。
スクリーンセーバーの設定方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「画面表示」→「スクリーンセーバー」をご覧ください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FM かんたんバックアップ」→「FM かんたんバックアップ」の順にクリックします。
「FM かんたんバックアップのワンポイント」ウィンドウが表示されます。
DESKPOWER をお使いの方は、キーボードのバックアップ（Backup）ボタンを押しても「FM かんたんバックアップ」を起動することができます。

3 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

4 「項目を選択して保存・復元を実行」をクリックします。

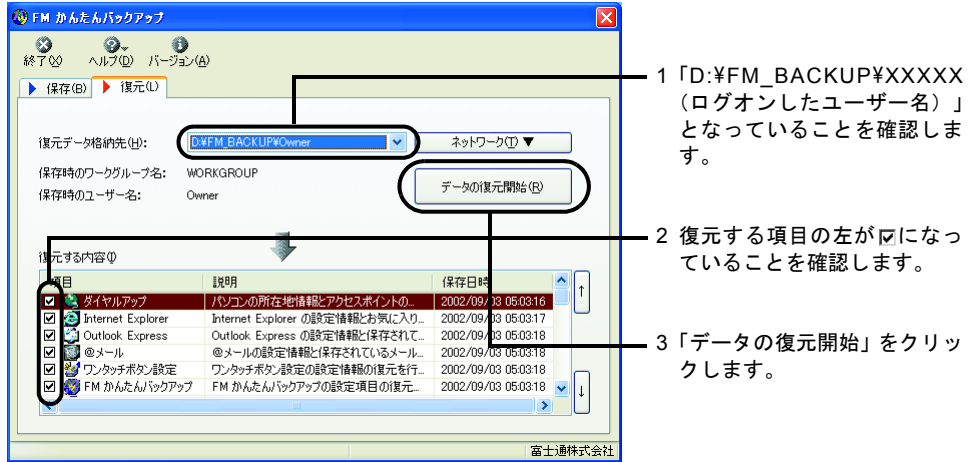
5 「復元」タブをクリックします。

6 1～3の手順に従って操作してください。

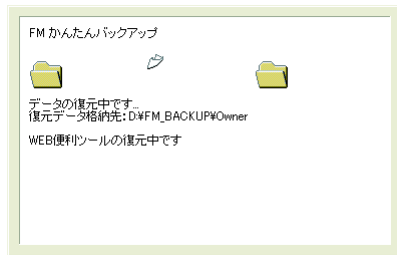
CD/DVDからデータを復元する場合は、データを保存したCD/DVDをドライブにセットし、「復元データ格納先」の[v]をクリックしてCD/DVDの入ったドライブを選択してください。

1「D:¥FM_BACKUP¥XXXXX（ログオンしたユーザー名）」となっていることを確認します。

2 復元する項目の左が☑になっていることを確認します。

3「データの復元開始」をクリックします。

7「復元開始」ウィンドウで、「開始」をクリックします。

8 データ復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、タブをクリックするなどの操作は行わないでください。

9「復元結果」ウィンドウで、「閉じる」をクリックします。

POINT

「データの復元が終了しました」というメッセージが表示された場合

「OK」をクリックしてください。
パソコンが再起動します。
この場合、手順10は必要ありません。

ファイルが復元されなかった場合

次のような原因が考えられます。

・「復元データ格納先」が間違って指定されている
　ドライブ名をバックアップのときと同じドライブに指定し直してください。
・ファイルがバックアップされていない
　バックアップしたときに、ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

10「終了」をクリックします。

これで、「FMかんたんバックアップ」でバックアップしたファイルが元の場所に復元されました。

2

第 2 章

パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明しています。
「ご購入時の状態に戻す前に」を必ず読んでから作業を始めてください。

1 ご購入時の状態に戻す前に

パソコンをご購入時の状態に戻すには、ハードディスクの内容をすべて削除し、「リカバリディスク」、「アプリケーションディスク」などから、ご購入時のデータをインストールします。
パソコンをご購入時の状態に戻すことを、「リカバリをする」とも言います。
ここに書かれていることを必ず確認し、準備してください。

重 要

トラブル解決が目的でリカバリをする方は
リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、状況に応じたサポート＆サービスをご利用ください。

リカバリの手順について
この章では、ご購入時の設定に戻す手順を説明しています。したがって、お客様ご自身で設定を変更される場合、ご自身の責任において行ってください。

ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方は ［DESKPOWER］
パソコンとは別に、ホームサーバー機能のリカバリが必要な場合があります。
詳しくは、添付の『ホームサーバー機能　取扱説明書』をご覧ください。

リカバリディスクを実行する前に

「リカバリディスク」を実行してご購入時の状態に戻す前に、次の項目を確認してください。

■リカバリの動作環境は満たしていますか？

リカバリをしてご購入時の状態に戻すには、ハードディスクドライブ（C ドライブ）が次の条件を満たしている必要があります。なお、ご購入時は次の設定になっています。

・ファイルシステムが NTFS に設定されている
・容量が 15GB 以上である

POINT

ファイルシステムを変更した人は
ファイルシステムを FAT32 に変更してしまっている人は、リカバリを実行する手順の途中で NTFS に戻すことができます。リカバリ方法を選択する画面で次の項目を選択してください。
・「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」

■AC アダプタを使用していますか？ ［BIBLO］

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。
取り付け方については、『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」をご覧ください。

■添付の機器以外は接続しないでください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されている機器以外は接続しないでください。**ただし、BIBLO をお使いの方で USB マウス（光学式）が添付の場合は、添付の USB マウス（光学式）も接続しないでください。**マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

2

■ファイルのバックアップはすんでいますか？

パソコンをご購入時の状態に戻すと、ご購入後お客様が作成されたファイル、追加したアプリケーションなどがすべて消えてしまいます。お客様が作成したファイルは必ずご自身でバックアップしてください。またバックアップしたファイルはパソコンをご購入時の状態に戻した後、同じ保存場所に戻すようにします。そのために元のファイルの保存場所を、メモなどして忘れないようにしてください。

POINT

バックアップとは

万一のときに備えて、大切なファイルを失わないために、ファイルをコピーして控えをとることです。ハードディスクをフォーマット（初期化）する前に、一時的にファイルを別の場所に保存することもバックアップといいます。

・「FM かんたんバックアップ」を使ってバックアップする（不具合が起きる前）

「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルやメールデータ、インターネットの設定などのバックアップが簡単にできます。

バックアップのしかたについては、「バックアップする」（••▶ P.42）をご覧ください。

重要

不具合が起きてからバックアップをとるときは

パソコンに不具合が起きてからリカバリをする場合、「FM かんたんバックアップ」でバックアップをとらないでください。復元するときに、パソコンに不具合が起きたときの設定も復元してしまいます。

・コピーしてバックアップする

「FM かんたんバックアップ」でバックアップできないファイルを、保存先にコピーしてバックアップします。

ファイルのコピーについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「よくある質問集」→「Windows の操作」→「ファイルやフォルダ」→「コピー」→「ファイルやフォルダをコピーしたい」をご覧ください。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

アプリケーションのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。インストールが正常に終了しない場合があります。

作業中に起こる可能性のあるトラブル

リカバリディスクを実行するときやアプリケーションをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

■ 画面が真っ暗になった

省電力機能が働いた可能性があります。
［DESKPOWER の場合］
マウスを動かしてください（クリックはしないでください）。
［BIBLO（LOOX シリーズを除く）の場合］
フラットポイントに触れるか、【Shift】などを押してください。
それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。
［BIBLO LOOX シリーズの場合］
クイックポイント IV を動かすか、【Shift】などを押してください。
それでも復帰しない場合は、SUS/RES スイッチを押してください。

■ CD/DVD のファイルが実行されない

CD/DVD をセットするドライブ名が間違っている可能性があります。
ドライブ名を間違って入力していると、ファイルが実行されませんので入力し直してください。
CD/DVD をセットするドライブ名は、ハードディスクの領域を設定し直した場合など、お使いの状況により異なります。ご購入時の状態では、CD/DVD をセットするドライブ名は「E」です。

■ 電源が切れない

［DESKPOWER、BIBLO（LOOX シリーズを除く）の場合］
電源ボタンを 4 秒以上（電源ランプが消えるまで）押し続けて電源を切ってください。
［BIBLO LOOX シリーズの場合］
パソコン本体背面にある強制終了スイッチを押して電源を切ってください。

アプリケーションディスクの［パターン］を確認する

リカバリの前に、添付の「アプリケーションディスク 1」を確認してください。
「アプリケーションディスク 1」が DVD か CD かによって、アプリケーションのインストール中にセットするディスクが異なる場合があります。

■ 「アプリケーションディスク 1」に（DVD）と書いてある場合

お使いのアプリケーションディスクは［DVD パターン］です。
このマニュアルで［DVD パターンの方］と書かれている部分をお読みください。

■ 「アプリケーションディスク 1」に（CD）と書いてある場合

お使いのアプリケーションディスクは［CD パターン］です。
このマニュアルで［CD パターンの方］と書かれている部分をお読みください。

作業の流れと必要なものを確認する

ご購入時の状態に戻す作業には、添付の CD/DVD を使用し、次の表の①〜⑥を行います。お使いのパソコンによって使う CD/DVD や手順が変わる場合がありますので、機種名（品名）・モデル名などご確認ください。

■必要な作業と用意するディスクについて

重 要

ご購入時の状態に戻すとき不要な作業について

お使いの機種が次に該当する場合は、ご購入時の状態に戻すときに、表の①〜⑥をすべて行う必要はありません。

- BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方
  ①〜④、⑥のみ行います。⑤は必要ありません。
- BIBLO NB16C/A、NB16CN をお使いの方
  ①〜⑤で作業は終了です。
- BIBLO NB16C/Rをお使いの方、カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方
  ①〜④で作業は終了です。

	作業の流れ	参照ページ	用意するディスク
①	「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する	P.55	リカバリディスク ※お使いの機種・モデルにより、枚数が異なります。
②	アプリケーションをまとめてインストールする	P.61	アプリケーションディスク ※お使いの機種・モデルにより、枚数が異なります。 MotionDV STUDIO の CD-ROM ※1つ以上のアプリケーション名が表記されています。 ［CDパターンの方（BIBLO LOOX Sシリーズ除く）］にのみ添付されています。
③	アプリケーションを 1 つずつインストールする	P.66	アプリケーションディスク ※お使いの機種・モデルにより、枚数が異なります。 MotionDV STUDIO の CD-ROM ※1つ以上のアプリケーション名が表記されています。 ［CDパターンの方（BIBLO LOOX Sシリーズ除く）］にのみ添付されています。 「Media Stage の CD-ROM」 ※ DESKPOWER のカスタムメイドモデルで TV チューナーカードを選択した方の、一部機種に添付されています。
④	サービスアシスタントをインストールする	P.69	富士通サービスアシスタント CD
⑤	Office XP Personal をインストールする	P.70	Microsoft Office XP Personal Microsoft Office XP ツール CD
⑥	プロアトラスをインストールする	P.76	プロアトラス

POINT

「MotionDV STUDIO」と表記された CD について［CD パターンの方（BIBLO LOOX S シリーズを除く）］

CD パターンの方がアプリケーションをインストールする場合は、「アプリケーションディスク」の他に、「MotionDV STUDIO の CD-ROM」を使います。
「MotionDV STUDIO の CD-ROM」には、WinDVD、MotionDV STUDIO、MyDVD、DVD-MovieAlbum いずれか 1 つ以上のアプリケーション名が表記してあります。インストール手順の途中で、「MotionDV STUDIO」と表記された CD-ROM をセットし・・」というメッセージが表示されたら、この CD をセットしてください。

2 「リカバリディスク」を実行する

「リカバリディスク」を実行し、ハードディスクの中身を削除してから復元します。

重 要

リカバリが中断されたら

リカバリが中断された場合は、次の点を確認した後、「「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する」（••▶ P.55）からやり直してください。

- 周辺機器を取り付けたままにしていませんか
  パソコンの電源を切り、周辺機器はすべて取り外してください。
  BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方は、CD/DVD ドライブのみ接続してください。
- 手順を確認してください
  手順を間違えた可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

「リカバリディスク」でハードディスクの中身を復元する

準備ができたら「リカバリディスク」を実行します。

重 要

BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方

「リカバリディスク」の実行にかかる時間は、約 30 分です。
「リカバリディスク」をセットするドライブが外付けになります。

- 別売の USB CD-R/RW ドライブユニット（FMV-NRW53S、FMV-NRW52S）をお使いの場合
  パソコン本体の USB コネクタに接続し、あらかじめ電源スイッチを入れておいてください。
- FMV-NRW53S、FMV-NRW52S をお使いにならない場合
  リカバリ起動ディスク、FDD ユニット（USB）、CD-ROM ドライブ（PC カード）をお使いになり、「リカバリディスク」を実行してください。
  - リカバリ 起動ディスクの作成方法は、『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の手順の最後にある POINT「リカバリ 起動ディスクの作成（S シリーズをお使いの方のみ）」をご覧ください。

ハードディスクを初期状態に戻す

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

重 要

ホームサーバー機能内蔵の機種をお使いの方［DESKPOWER］

まずホームサーバー機能を停止し、次に Windows を終了する必要があります。
『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「電源の切り方と入れ方」→「電源を切る」で「電源ケーブルをコンセントから抜く場合」の手順をご覧になり、Windows の終了までを行ってください。

2 キーボードの F12 の位置を確認します。

パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、F12 を押します。

F12 を軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

FUJITSU

<TAB>：自己診断画面／<F2>：BIOSセットアップ／<F12>：起動メニュー

ここに表示されます。

（メッセージの表示のしかたはお使いの機種により異なります）

しばらくすると、起動メニュー（Boot Menu）が表示されます。

重 要

起動メニュー（Boot Menu）が表示されないときは

F12 を押すタイミングが合わないと、Windows が起動してしまいます。パソコンの電源を切り、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 1（→ P.55）からやり直してください。

4 「リカバリディスク」1 枚目をセットします。

CD が認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 [↓] を押して「CDROM」や「CD-ROM ドライブ」などを選択し、[Enter] を押します。

BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方で FMV-NRW53S、FMV-NRW52S を接続している場合は「USB CD-ROM ドライブ」を選択し、[Enter] を押します。
※下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

起動メニュー

＝起動デバイスを選択してください＝
ハードディスク
CDROM
USB-FDD
USB-CDROM
LAN

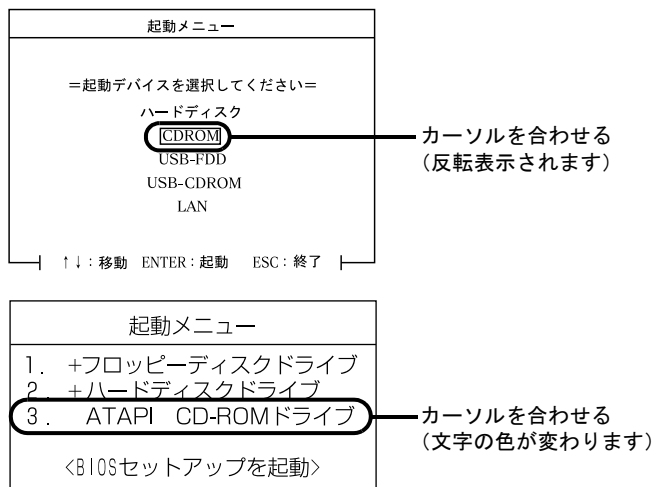
↑↓：移動　ENTER：起動　ESC：終了

カーソルを合わせる
（反転表示されます）

起動メニュー

1．+フロッピーディスクドライブ
2．+ハードディスクドライブ
3．ATAPI CD-ROMドライブ

<BIOSセットアップを起動>

カーソルを合わせる
（文字の色が変わります）

しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

重要

リカバリメニューが表示されないときは

CD-ROM を取り出し、CD-ROM が間違っていないか確認してください。
確認後、[Ctrl] と [Alt] を押しながら [Delete] を押し、パソコンを再起動してください。
その後、「ハードディスクを初期状態に戻す」手順 3（→ P.56）からやり直してください。

6 [←] [→] を押して「リカバリ」を選択し、[Enter] を押します。

リカバリが選択されると、【リカバリ】の状態になります。
[Enter] を押してしばらくすると、「リカバリディスク」についての説明が表示されます。

7 [Pg Dn] または [Pg Up] でページを切り替え、内容をよくお読みください。

[↓]、[↑] と [Pg Dn]、[Pg Up] が同じキーに割り当てられているキーボードをお使いの方は、[Fn] を押しながら [↓]、[↑] を押します。

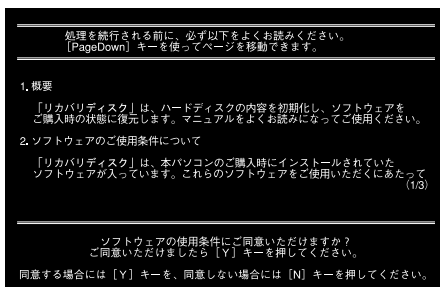
処理を続行される前に、必ず以下をよくお読みください。
［PageDown］キーを使ってページを移動できます。

1. 概要

「リカバリディスク」は、ハードディスクの内容を初期化し、ソフトウェアをご購入時の状態に復元します。マニュアルをよくお読みになってご使用ください。

2. ソフトウェアのご使用条件について

「リカバリディスク」は、本パソコンのご購入時にインストールされていたソフトウェアが入っています。これらのソフトウェアをご使用いただくにあたって
(1/3)

ソフトウェアの使用条件にご同意いただけますか？
ご同意いただけましたら［Y］キーを押してください。
同意する場合には［Y］キーを、同意しない場合には［N］キーを押してください。

（画面はお使いの機種により異なります）

重要

ソフトウェアのご使用条件について

詳しくは、『パソコンの準備』の「ソフトウェアの使用条件」をご覧ください。

8 ソフトウェアのご使用条件に同意していただいた場合は、【Y】を押します。

画面にメインメニューが表示されます。

9 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して、【Enter】を押します。

ご購入時の状態に戻す（推奨）

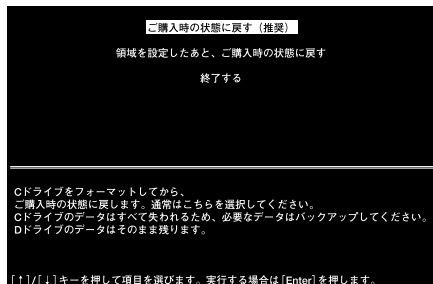
領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す

終了する

Cドライブをフォーマットしてから、
ご購入時の状態に戻します。通常はこちらを選択してください。
Cドライブのデータはすべて失われるため、必要なデータはバックアップしてください。
Dドライブのデータはそのまま残ります。

[↑]/[↓]キーを押して項目を選びます。実行する場合は[Enter]を押します。

確認の画面が表示されます。

POINT

「終了する」を選択した場合

【Y】を押すと「C:¥>」と表示されます（お使いの状況により異なる場合があります）。電源ボタンや強制終了スイッチで電源を切ってください。

「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択した場合

D ドライブも含めハードディスクの全データが削除されます。重要なデータは、フロッピーディスクなど別の媒体にバックアップしてください。
詳しくは「Q D ドライブの容量を増やしたい」（→ P.39）をご覧ください。

10 ご購入時の状態に戻す場合は、【Y】を押します。

画面の下に「復元しています...」と表示され、ファイルのコピーが始まります。
しばらくお待ちください。

11 「2 枚目のメディアをドライブ Y: に入れてください」というメッセージが表示されたら、「リカバリディスク」1 枚目を取り出し、「リカバリディスク」2 枚目をセットして、【Y】を押します。

ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

12 「3 枚目のメディアをドライブ Y: に入れてください」というメッセージが表示されたら、「リカバリディスク」2 枚目を取り出し、「リカバリディスク」3 枚目をセットして【Y】を押してください。

ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

13 **「復元作業が正常に終了しました。」と表示されたら、「リカバリディスク」を取り出します。**

14 **次の「Windows のセットアップをする」（P.59）に進みます。**

Windows のセットアップをする

この後は、お使いの機種により手順が異なります。

- ［DESKPOWER の場合、BIBLO（LOOX S シリーズ除く）の場合］
  次の「DESKPOWER 全機種、BIBLO NH、NB、MG、LOOX T シリーズの場合」に進みます。
- ［BIBLO LOOX S シリーズの場合］
  「BIBLO LOOX S シリーズの場合」（P.59）に進みます。

DESKPOWER 全機種、BIBLO NH、NB、MG、LOOX T シリーズの場合

ここでもう一度 Windows のセットアップを行います。セットアップ手順については、『パソコンの準備』をご覧ください。

1 **「アプリケーションディスク 1」をセットして、Y を押します。**

パソコンが再起動します。
途中で「please wait ...」と表示されます。セットアップの画面が表示されるまでしばらくお待ちください。途中で画面が真っ暗になりますが、電源は切らないでください。
その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。

2 **『パソコンの準備』の手順に従い、Windows のセットアップをします。**

「アプリケーションのインストール」ウィンドウが表示されるまで（「「アプリケーションディスク」からまとめてインストールする」手順 1（P.61）の状態になります）、『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の手順に従って操作してください。

3 **「「アプリケーションディスク」からまとめてインストールする」（P.61）に進みます。**

BIBLO LOOX S シリーズの場合

ここでもう一度 Windows のセットアップを行います。セットアップ手順については、『パソコンの準備』をご覧ください。

POINT

「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（P.27）もあわせてご覧ください。

1 「リカバリディスク」を取り出したことを確認し、接続している FMV-NRW53S または FMV-NRW52S を外します。

2 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押します。

パソコンが再起動します。

途中で「please wait ...」と表示されます。セットアップの画面が表示されるまでしばらくお待ちください。途中で画面が真っ暗になりますが、電源は切らないでください。

その後、ご購入後初めて電源を入れたときのように Windows のセットアップが始まります。

3 『パソコンの準備』の手順に従い、Windows のセットアップをします。

『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の手順で、「「必ず実行してください」を実行する」の前までの操作を行ってください。

4 FMV-NRW53SまたはFMV-NRW52Sをパソコン本体のUSBコネクタに接続します。

■ FMV-NRW53S を接続した場合

ドライバが自動でインストールされます。インストール終了後は、手順 9 に進みます。

■ FMV-NRW52S を接続した場合

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」という画面が表示されます。手順 5 に進みます。

5 「一覧または特定の場所からインストールする」の○をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

6 「検索とインストールのオプションを選んでください。」という画面で「次の場所を含める」が☑になっていることを確認します。

7 「参照」の左の欄に次のように入力して「次へ」をクリックします。

```
c:¥fjuty¥fmvnrw52s
```

インストールが始まります。

「ハードウェアのインストール」ウィンドウが表示されたら「続行」をクリックしてください。

8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」という画面で「完了」をクリックします。

「システム設定の変更」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックしてください。パソコンが再起動します。

続けてアプリケーションのインストールに進みます。

9 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

10 次のファイル名を入力して「OK」をクリックします。

```
c:¥fjuty¥recvw¥recvw.exe
```

11 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「アプリケーションディスク 1」をセットします。

12 次の「「アプリケーションディスク」からまとめてインストールする」(P.61) に進みます。

「アプリケーションディスク」からまとめてインストールする

ご購入時の状態に戻すために、続けて「アプリケーションディスク」などから必要なアプリケーションをインストールします。
アプリケーションのインストール中は、メッセージが表示されるまで「アプリケーションディスク」を入れ替えないでください。トラブルの原因になる場合があります。

POINT

「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されたときは

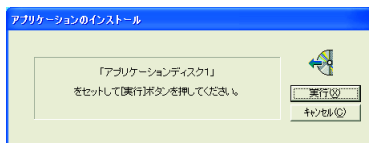
ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」(P.27) もあわせてご覧ください。

「乗換案内 時刻表対応版 Setup」と表示されたときは

「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンでアプリケーションのインストールをしているとき、しばらくすると「乗換案内 時刻表対応版 Setup」画面が表示される場合があります。正常に動作していますので、何も操作はせず、そのままお待ちください。自動でインストールが終了し、元の画面に戻ります。

「FM かんたんインストール」で、残りのアプリケーションをインストールします。
ここでは、「標準」ボタンで複数のアプリケーションをまとめてインストールできます。
次の手順は「Windows のセットアップをする」の手順の続きになっています。

1 「「アプリケーションディスク 1」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「アプリケーションディスク 1」がセットされていることを確認します。

アプリケーションのインストール
「アプリケーションディスク1」
をセットして[実行]ボタンを押してください。
実行(X)
キャンセル(C)

POINT

必要なアプリケーションだけをインストールしたい人は

次の手順 2 で「キャンセル」をクリックすると、リカバリが終了します。その後、アプリケーションディスクから必要なアプリケーションを選んでインストールすることができます。
その場合、重要「手順 2 で「キャンセル」をクリックした方は必ず「必ず実行してください」を実行してください」もご覧になってください。

2 「実行」をクリックします。

重 要

手順 2 で「キャンセル」をクリックした方は必ず「必ず実行してください」を実行してください

この操作でパソコンを動かすのに重要な設定を行っていますので、必ず行ってください。

1. 「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。
2. 「実行する」をクリックします。
3. 「保証期間表示」ウィンドウで「閉じる」をクリックし、「いいえ」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。
   パソコンが再起動します。

その後、次の操作を行ってください。

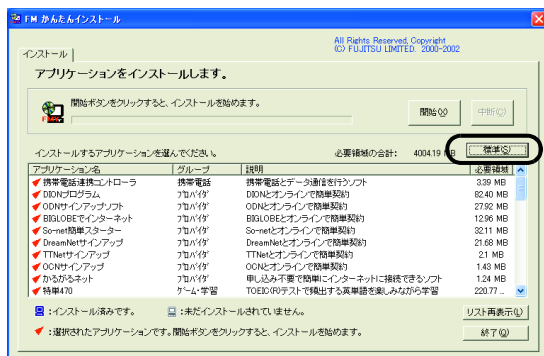
1. [DVD パターンの方]「アプリケーションディスク 1」をセットします。
   [CD パターンの方]「アプリケーションディスク 2」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。
   ```
   e:¥info.bat
   ```
   自動で必要な設定が行われます。
4. 「アプリケーションディスク」を取り出します。

続いて、添付の CD-ROM などから必要なアプリケーションをインストールしてください。
「アプリケーションディスク」からアプリケーションをインストールする場合は、「1 つずつアプリケーションをインストールする」(P.66)を参考にしてください。

DVD Multi ドライブ、DVD-R/RW ドライブ、DVD-ROM ドライブ搭載の機種をお使いの方は、インストールの途中で「キャンセル」を選ぶと、DVD-VIDEO や VIDEO CD が再生できなくなります。

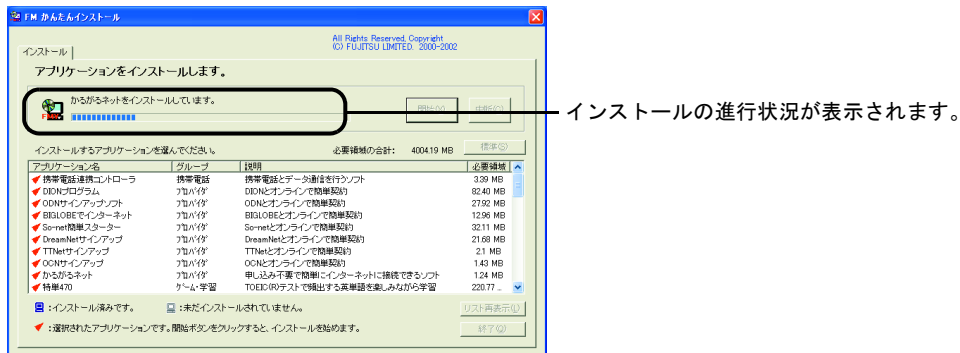
DVD Multi ドライブ、DVD-R/RW ドライブ、DVD-ROM ドライブ搭載の機種では、「WinDVD」というアプリケーションを使って DVD-VIDEO や VIDEO CD を再生しています。
インストール操作中、「実行」を選ばず「キャンセル」を選ぶと、アプリケーションのインストールが終了します。手順の最後まで操作しない場合は、「WinDVD」がインストールされず DVD-VIDEO や VIDEO CD を再生することができなくなります。
そのようなときは、「WinDVD をインストールする(リカバリの途中でキャンセルした方)」(P.80)をご覧になり、インストールし直してください。

3 「標準」をクリックします。

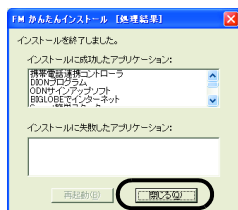
「標準」をクリックすると、ご購入時にインストールされていたアプリケーションが一括で選択されます。

（画面は機種や状況により異なります）

4 「開始」をクリックします。

5 「インストールを開始します。」というメッセージで「OK」をクリックします。

アプリケーションのインストールが始まります。

インストールの進行状況が表示されます。

インストールが終了すると、「FM かんたんインストール ［処理結果］」ウィンドウが表示されます。

6 「閉じる」をクリックします。

7 「終了」をクリックします。

DVD パターンの方は、インストール終了です。手順 12 に進んでください。

8 **「「アプリケーションディスク ●」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、指定されたアプリケーションディスクに入れ替え、「実行」をクリックします。**

●には、2 ～ 4 の数字が入ります。

9 **手順8のメッセージが表示されなくなるまで、手順3～8の操作を繰り返します。**

お使いの機種により、ディスクを入れ替える回数は異なります。

10 **「「MotionDV STUDIO と表記されている CD」をセットして［実行］ボタンを押してください。」というメッセージが表示されたら、「MotionDV STUDIO の CD-ROM」に入れ替え、「実行」をクリックします。**

「MotionDV STUDIO」「WinDVD」などのアプリケーションをインストールします。
メッセージが表示されない場合は、インストール終了です。手順 12 に進んでください。

11 **手順 3 ～ 7 の操作を繰り返します。**

「FM かんたんインストール」が終了します。

12 **セットしてあるディスクを取り出します。**

13 **「スタート」ボタン→「必ず実行してください」の順にクリックします。**

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

14 **「実行する」をクリックします。**

15 **「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。**

コンピュータの情報を取得した後、再び「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

16 **内容を確認し、「OK」をクリックします。**

パソコンが再起動します。

ご購入時と同じ状態にするために、次のことを行ってください。

■ Drag'n Drop CD の常駐を解除する（BIBLO LOOX S シリーズを除く）

Drag'n Drop CD の常駐を解除します。

1. 画面右下の通知領域で（Drag'n Drop CD）を右クリックし、表示されたメニューから「設定」をクリックします。
2. 「設定」ウィンドウで「起動時に常駐する」の☑をクリックして□にします。
3. 「OK」をクリックします。
4. 画面右下の通知領域で（Drag'n Drop CD）を右クリックし、表示されたメニューから「終了」をクリックします。

「「アプリケーションディスク」から選んでインストールする」（▶ P.65）に進みます。

3 「アプリケーションディスク」から選んでインストールする

次のアプリケーションは、「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンではインストールされません。「FM かんたんインストール」をご自身で起動し、各アプリケーションをインストールしてください。

■インストールが必要なアプリケーションと使用するディスク

お使いの機種により、ご購入時にインストールされていたアプリケーションが異なります。必要なアプリケーションをご確認ください。

POINT

複数のアプリケーション名が表記された CD について

CD パターンの方は、一部のアプリケーションをインストールする際、「アプリケーションディスク」ではなく「×××（アプリケーション名）の CD-ROM」を使います。
この CD には、WinDVD、MotionDV STUDIO、MyDVD、DVD-MovieAlbum いずれか 1 つ以上のアプリケーション名が表記してあります。

アプリケーション名	インストールが必要な機種	使用するディスク
蔵衛門デジブック	全機種	アプリケーションディスク 1
OASYS ビューア	全機種	アプリケーションディスク 1
Vision Connect（※ 1）	全機種	[DVDパターンの方] アプリケーションディスク1 [CDパターンの方] アプリケーションディスク2
柿木将棋Ⅲ Light	全機種（BIBLO LOOX シリーズを除く）	[DVDパターンの方] アプリケーションディスク1 [CDパターンの方] アプリケーションディスク2
MyDVD	DVD Multi ドライブ搭載の機種 DVD-R/RW 搭載の機種	[DVDパターンの方] アプリケーションディスク2 [CDパターンの方] 「MyDVDのCD-ROM」
DVD-MovieAlbum	DVD Multi ドライブ搭載の機種	[DVD パターンの方] アプリケーションディスク 2 [CDパターンの方] 「DVD-MovieAlbumのCD-ROM」
MediaStage LE	DESKPOWER：TV チューナーカード内蔵の機種	アプリケーションディスク 2 （※2 カスタムメイドモデルの方は「MediaStage の CD-ROM」）
MediaStage SE	BIBLO:TV チューナーカード内蔵の機種	アプリケーションディスク 2
Virtual CD	BIBLO MG シリーズ、LOOX シリーズ	アプリケーションディスク 2

※1 Vision Connect をインストールしないと、デスクトップの「@nifty でブロードバンドコンテンツ」ボタンをクリックしても、アプリケーションが起動しませんのでご注意ください。
※2 ホームサーバー機能内蔵の機種は除きます。その場合は「アプリケーションディスク 2」をお使いください。

1つずつアプリケーションをインストールする

POINT

「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.27）もあわせてご覧ください。

アプリケーションをインストールする前に

画面が表示されているなど、別のアプリケーションが起動している場合は、インストールを始める前にすべて終了させてください。

1. **インストールするアプリケーションが入っている「アプリケーションディスク」、または CD-ROM をセットします。**

2. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3. **「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。**
   【半角/全角】を押すごとに、半角英数と全角が切り替わります。
   e:¥ezinst.exe

4. **表示されたアプリケーション名から、インストールするアプリケーション名をクリックします。**

5. **「開始」をクリックします。**

6. **「OK」をクリックします。**

以降は画面に表示されるメッセージに従ってインストールを進めてください。また必ず次の「インストールするときの注意」の各アプリケーションの項をご覧ください。

インストールするときの注意

アプリケーションをご購入時の状態に戻すときは、次のことに注意して、インストールしてください。ここに書かれていない設定は特に変更する必要はありません。そのまま「次へ」や「はい」、「OK」、「インストール」、「完了」などをクリックしてインストールを進めてください。
アプリケーションのインストール終了後に再起動を勧めるメッセージが表示された場合は、必ずパソコンを再起動してください。

■蔵衛門デジブック

・最後に「蔵衛門デジブック」ウィンドウが表示されたら、×をクリックして閉じます。

■ OASYS ビューア

・「WinZip Self-Extractor」ウィンドウが表示されたら、「Setup」をクリックします。

■ Vision Connect

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。

■ 柿木将棋Ⅲ Light

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。
・「柿木将棋Ⅲ Light」ウィンドウが表示されたら、✕をクリックして閉じます。

■ MyDVD

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。

■ DVD-MovieAlbum

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。

■ MediaStage

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。
・「Windows Media Format 7.1 file Setup」ウィンドウが表示されたら「Yes」をクリックします。

■ Virtual CD

・手順 6 の後「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」とメッセージが表示されます。「自動」をクリックしてインストールしてください。

すべてのアプリケーションのインストールが終了したら、「アプリケーションディスク」を取り出します。

ご購入時と同じ状態や設定にするために

アプリケーションをインストールした後、ご購入時と同じ状態や設定にするために、以下の操作を行ってください。

■デスクトップのショートカットアイコンを削除する

デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたいときは、アプリケーションのインストール後に表示された次のショートカットアイコンを、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。

- （OASYS ビューア V8）
- （Sonic MyDVD）
- （Virtual CD マネージャー）

インストールしたアプリケーションによって、デスクトップに表示されるショートカットアイコンは異なります。

■Virtual CD の常駐を解除する

Virtual CD の常駐を解除します。

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Virtual CD」→「Virtual CD マネージャー」の順にクリックします。
2. 「Virtual CD マネージャー」ウィンドウで、「表示」メニュー→「環境設定」の順にクリックします。
3. 「環境設定」ウィンドウで「各種設定」タブをクリックします。
4. 「タスクトレイに Virtual CD アイコンを常駐する」の☑をクリックして□にします。
5. 「OK」をクリックします。
6. 「Virtual CD マネージャー」のウィンドウの をクリックして終了します。

4 サービスアシスタントをインストールする

「富士通サービスアシスタント CD」を用意してください。

1 **「富士通サービスアシスタント CD」をセットします。**

2 **「富士通サービスアシスタントの準備」ウィンドウで「開始」をクリックします。**

サービスアシスタントのインストールが始まります。
しばらくすると、「富士通サービスアシスタントの準備ができました。」と表示されます。

3 **「終了」をクリックします。**

4 **「富士通サービスアシスタント CD」を取り出します。**

5 Office XP Personal をインストールする

「Office XP Personal」「Microsoft Outlook Plus! 2.0」「Microsoft Bookshelf Basic」をインストールしてください。
ただし、次の場合は添付されていません。

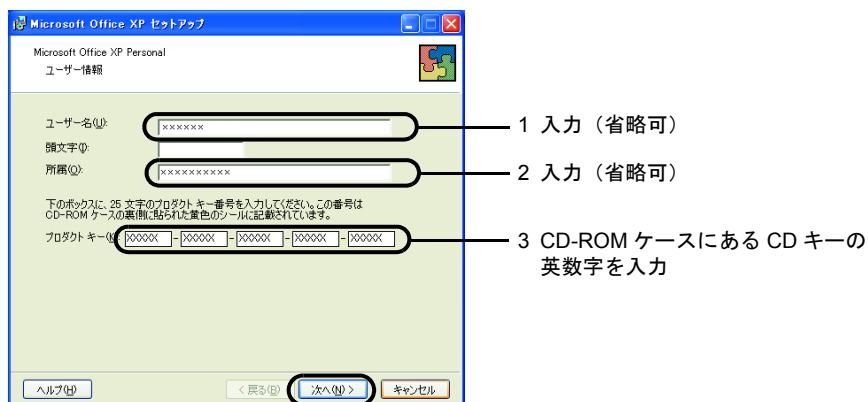
・BIBLO NB16C/R、LOOX S シリーズをお使いの方
・カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した方

Office XP Personal をインストールする

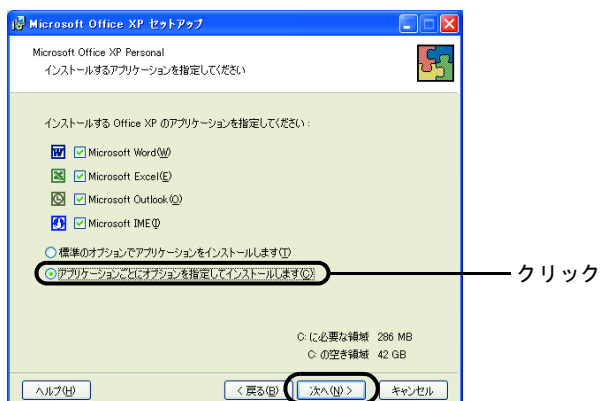
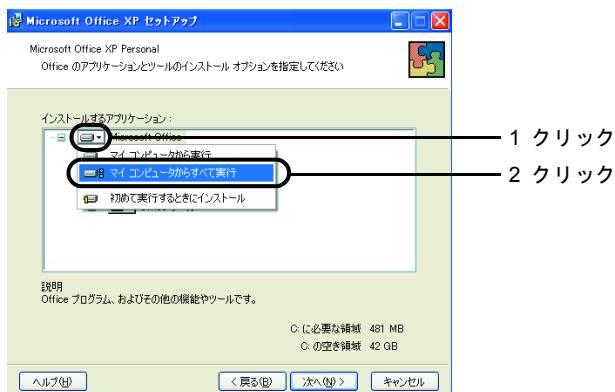
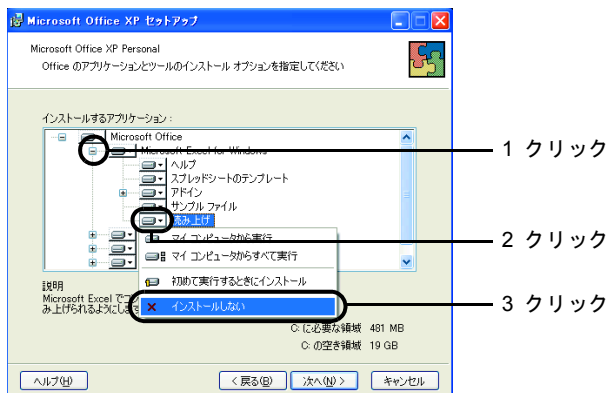
「Microsoft Office XP Personal」を用意してください。

1 **「Microsoft Office XP Personal」をセットします。**

2 **「ユーザー名」、「所属」、「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。**

1 入力（省略可）
2 入力（省略可）
3 CD-ROM ケースにある CD キーの英数字を入力

3 **「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。**
内容に同意していただいた場合は「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

4 **「カスタム」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**

5 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Office」の左の をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。

7 1 （Microsoft Excel for Windows）の左の⊞をクリックして⊟にします。2「読み上げ」の左の をクリック、3「インストールしない」をクリックします。

8 1（Office 共有機能）の左の⊞をクリックして⊟にし、2（入力システムの拡張）の左の⊞をクリックして⊟にします。3「音声」の左のをクリックし、4「インストールしない」をクリックします。

Microsoft Office XP セットアップ

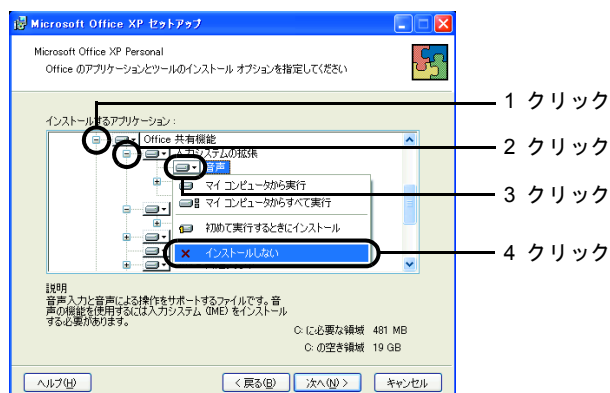
Microsoft Office XP Personal
Office のアプリケーションとツールのインストール オプションを指定してください

インストールするアプリケーション：
Office 共有機能
入力システムの拡張
音声
マイ コンピュータから実行
マイ コンピュータからすべて実行
初めて実行するときにインストール
インストールしない

説明
音声入力と音声による操作をサポートするファイルです。音声の機能を使用するには入力システム（IME）をインストールする必要があります。

C: に必要な領域　481 MB
C: の空き領域　19 GB

ヘルプ(H)　< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

1 クリック
2 クリック
3 クリック
4 クリック

9 「次へ」をクリックします。

10 「完了」をクリックします。

インストールが始まります。
しばらくすると「Office XP セットアップ」ウィンドウが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

パソコンが再起動します。

12 「Microsoft Office XP Personal」を取り出します。

13 「スタート」ボタンを右クリックし、「開く -AllUsers」をクリックします。

14 「スタートメニュー」ウィンドウで（プログラム）をクリックします。

15 「プログラム」ウィンドウで（スタートアップ）をクリックします。

16 「スタートアップ」ウィンドウで（Microsoft Office）を（ごみ箱）にドラッグして削除します。

17 「スタートアップ」ウィンドウのをクリックして閉じます。

重 要

Office XP Personal ライセンス認証が必要になります

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に Office XP Personal のアプリケーションをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「Office XP Personal のライセンス認証を行う」（▶ P.79）をご覧ください。

次に、「Microsoft Outlook Plus! 2.0」のインストールを行います。

Microsoft Outlook Plus! 2.0 をインストールする

2

「Office XP ツール CD」を用意してください。

1 **「Office XP ツール CD」をセットします。**

2 **「Microsoft Office XP ツール」ウィンドウで「Outlook Plus!2.0 のセットアップ」の左にある Plus! をクリックします。**

POINT

「Microsoft Office XP ツール」ウィンドウが表示されないときは

「Microsoft Bookshelf Basic」を先にインストールしてしまった場合など、ウィンドウが表示されないことがあります。このようなときは、次の操作を行ってインストール作業を続行してください。

1. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
2. 「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。
   【半角/全角】を押すごとに、半角英数と全角が切り替わります。
   e:¥offplus¥olplusj.exe

「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 インストールウィザードへようこそ」というウィンドウが表示されます。

3 **「次へ」をクリックします。**

4 **「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックします。**

5 **「インストールの開始」というウィンドウで「次へ」をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

6 **「Microsoft Outlook Plus! Version 2.0 は正常にインストールされました」というウィンドウで「完了」をクリックします。**

7 **「Office XP ツール CD」を取り出します。**

次に、「Microsoft Bookshelf Basic」のインストールを行います。

Microsoft Bookshelf Basic をインストールする

「Office XP ツール CD」を用意してください。

1 **「Office XP ツール CD」をセットします。**

2 **「Microsoft Office XP ツール」ウィンドウで「Bookshelf Basic 3.0 のセットアップ」の左にある をクリックします。**

「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0 のウィザードへようこそ」というウィンドウが表示されます。

3 **「次へ」をクリックします。**

4 **セットアップタイプを選択する画面が表示されたら、「標準」をクリックします。**

5 **「インストール」をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

6 **「ウィザードを完了しました」というウィンドウで「完了」をクリックします。**

7 **「Office XP ツール CD」を取り出します。**

設定を有効にするため、パソコンを再起動します。

8 **「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。**

9 **「再起動」をクリックします。**

パソコンが再起動します。

Bookshelf Basic の常駐を解除します。

10 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Microsoft Reference」→「Microsoft Bookshelf Basic Version3.0」の順にクリックします。**

「オンラインユーザー登録」ウィンドウが表示された場合は、「後で登録」をクリックします。

11 **「Bookshelf Basic」のウィンドウで、「ツール」メニュー→「オプション」の順にクリックします。**

12 「QuickShelf の開始（起動時にも自動的に開始します）」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。

13 「Bookshelf Basic」のウィンドウの☒をクリックして終了します。

POINT

デスクトップの状態をご購入時と同じ状態にするには

次のアイコンを削除してください。

・（Microsoft Outlook）を（ごみ箱）にドラッグします。「Microsoft Outlook アイコンをデスクトップから削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

・（Outlook メール簡単設定 Plus!）を（ごみ箱）にドラッグします。

「スタート」メニューなどの「電子メール」を「@メール」にするには

「リカバリディスク」実行後に「Office XP Personal」をインストールすると、ご購入時と電子メールの設定が変わる場合があります。

「スタート」メニューの「電子メール」に表示されているメールソフトを、ご購入時と同じ「@メール」にするには、次の手順に従って操作してください。

1. タスクバーを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
   「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「［スタート］メニュー」タブをクリックし、「［スタート］メニュー」の左が◉になっていることを確認したら、「カスタマイズ」をクリックします。

   「［スタート］メニューのカスタマイズ」ウィンドウが表示されます。
3. 「電子メール」の左が☑になっていることを確認し、右側の▼をクリックして「@メール」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

Internet Explorer から起動する電子メールを、ご購入時と同じ「@メール」にするには、次の手順に従って操作してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 表示された「スタート」メニューから、「インターネット」にマウスポインタを合わせて右クリックします。
3. 表示されたメニューから「インターネットのプロパティ」をクリックします。
4. 「プログラム」タブをクリックします。
5. 「電子メール」欄を確認し、「@メール」が表示されていない場合は右側の▼をクリックして「@メール」を選択します。
6. 「OK」をクリックします。

6 プロアトラスをインストールする

「プロアトラス」（DVD-ROM の場合は 1 枚、CD-ROM の場合は 2 枚）を用意し、インストールしてください。カスタムメイドモデルでスタンダードセットを選択した場合は添付されていません。

POINT

BIBLO NB16C/R、NB16C/A、NB16CN をお使いの方は

NB16C/R、NB16C/A、NB16CN をお使いの方は、「プロアトラス」はご購入時にはインストールされていません。ご購入時と同じ状態にする場合はこの操作は不要ですが、次の手順を参考にインストールが可能です。

1. **「プロアトラス」（CD-ROM の場合は「DISK1」）をセットします。**
2. **「プロアトラス W [for FUJITSU 全国 DVD（または日本広域 CD）] 用のセットアップへようこそ」のウィンドウで「次へ」をクリックします。**
3. **使用許諾契約の内容をよくお読みください。内容に同意していただいた場合は、「同意する」をクリックします。**
4. **「インストール先の選択」のウィンドウで「次へ」をクリックします。**
5. **「地図データインストール先の選択」のウィンドウで「次へ」をクリックします。**
6. **「地図データの選択」のウィンドウで何もチェックを入れずに「次へ」をクリックします。**
7. **「検索データインストール先の選択」のウィンドウで「次へ」をクリックします。**
8. **「全国ピンポイント住所検索データの選択」ウィンドウが表示された場合は、「次へ」をクリックします。**
   プロアトラス（CD）では表示されません。
9. **「プログラムフォルダの選択」のウィンドウで「次へ」をクリックします。**
10. **「ディスプレイ画面サイズ」を指定する画面で、何も入力しないで「後で入力」をクリックします。**

11 「ファイルコピーの開始」のウィンドウで「次へ」をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

12 「クイックアドレス登録の推奨」ウィンドウで「いいえ」をクリックします。

2

13 「ユーザー登録のお願い」ウィンドウで「いいえ」をクリックします。

14 「はい、直ちにヘルプファイルを参照します。」の☑をクリックして□にし、「完了」をクリックします。

15 「プロアトラス」を取り出します。

デスクトップの設定をご購入時と同じ状態にしたい場合は、(プロアトラス W) を (ごみ箱) にドラッグして削除します。

7 パソコンがご購入時の状態に戻った後は

パソコンがご購入時の状態に戻ったら、バックアップしたファイルを復元するなど、以前に使っていた環境に近づけましょう。

重要

Air H″ IN のサインアップを再度行う必要はありません（BIBLO LOOX シリーズのみ）

Air H″ IN のサインアップで取得した電話番号は、本体内蔵の Fujitsu AirH″ IN FP-U2 に格納されています。リカバリディスクを実行した後も再度サインアップを行う必要はありません。

所在地情報とモデムの設定をする

「サービスアシスタント」を起動した後、所在地情報とモデムの設定を行ってください。
設定方法については、『パソコンの準備』→「電源を入れてパソコンの準備をする」→「初めて電源を入れる」→「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」の手順の最後の方にある、「所在地情報の設定」をご覧ください。

周辺機器を接続する

プリンタなどの周辺機器の接続方法については、『パソコンの準備』→「目的に合わせて接続／設定する」や、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」をご覧ください。
周辺機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションディスクのアプリケーションや市販のアプリケーションなど、ご購入後にインストールしたアプリケーションは、改めてインストールする必要があります。
「アプリケーションディスク」からのインストールの方法は、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「アプリケーション一覧」をご覧になり、「FM かんたんインストール」を選択してください。
その他のアプリケーションのインストール方法はそれぞれのアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

POINT

アプリケーションをインストールした後は

アプリケーションをインストールした後は、すぐにアプリケーションを使わず、パソコンを再起動してからお使いになることをお勧めします。

バックアップしたファイルを復元する

「ご購入時の状態に戻す前に」（••▶ P.50）でバックアップしたファイルを元の場所に戻します。

2

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルや設定を復元する

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたファイルやインターネット設定を元の場所に復元します。復元のしかたについては、「「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元するには」（••▶ P.46）をご覧ください。

コピーしてバックアップしたファイルを復元する

ファイルを元の場所にコピーします。このとき、違う場所にコピーすると使用できなかったり、別途設定が必要になったりする場合がありますのでご注意ください。
また、ご購入後にインストールしたアプリケーションのファイルを復元する場合は、先にそのアプリケーションをインストールし直してからファイルをコピーしてください。

その他の作業

インターネットに接続する

インターネットに接続していた方は、オンラインサインアップを行う必要はありません。接続の設定を行うだけで再びご利用になれます（「FM かんたんバックアップ」でバックアップと復元を行った場合は、接続の設定を行う必要はありません）。
「「FM かんたんバックアップ」でファイルを復元するには」（••▶ P.46）

Office XP Personal のライセンス認証を行う

Office XP Personal のアプリケーションをお使いになる前に、ライセンス認証を行ってください。ライセンス認証は、インターネット経由で行うことをお勧めします。インターネットに接続するための設定がされていることを確認してください。
初めてインターネットに接続する方は、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」→「インターネットを始めるための設定」をご覧になり、インターネットに接続できる状態にしておいてください。
認証手順については、Office XP Personal に添付の『セットアップガイド』→「ライセンス認証を行う」をご覧ください。

パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。設定については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコンの設定」をご覧ください。

WinDVD をインストールする（リカバリの途中でキャンセルした方）

DVD Multi ドライブ、DVD-R/RW ドライブ、DVD-ROM ドライブ搭載の機種をお使いの方で、次に該当する方は、「WinDVD」をインストールし直してください。

- リカバリの実行後、アプリケーションをインストールしなかった方
- リカバリの実行後、「FM かんたんインストール」の「標準」ボタンでアプリケーションをインストール中に、「キャンセル」をクリックしてしまった方

1 **WinDVD のディスクをセットします。セットするディスクは、お使いのアプリケーションディスクのパターンにより異なります。**

[DVD パターンの方]「アプリケーションディスク 1」をセットしてください。
[CD パターンの方]「WinDVD の CD-ROM」をセットしてください。

POINT

「・・・Windows が実行する動作を選んでください」というメッセージが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「・・・Windows が実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「キャンセル」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.27）もあわせてご覧ください。

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に半角英数で次のように入力し、「OK」をクリックします。**

【半角/全角】を押すごとに、半角英数と全角が切り替わります。

```
e:¥ezinst.exe
```

4 **表示されたアプリケーション名から「WinDVD」をクリックし、「開始」をクリックします。**

5 **「OK」をクリックします。**

6 **「アプリケーションのインストール方法を選んでください。」というメッセージで「自動」をクリックします。**

インストールが始まります。

7 **「再起動してください。」というメッセージで、「再起動」をクリックします。**

パソコンが再起動します。

8 **WinDVD のディスクを取り出します。**

3

第 3 章

問い合わせしたいときは

どうしても解決策を見つけられず、問い合わせをしたいときに、ご覧ください。

1 お問い合わせ先について

アプリケーションに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているアプリケーションの内容については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のアプリケーションについては、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。
電話番号、FAX 番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださるようお願いいたします。
なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているアプリケーションは異なります。

富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へご相談ください。

- パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。
- サービスアシスタントや添付のマニュアルを調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。
- この本の「Q&A 集」（▶ P.7）や、「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（▶ P.49）を実行しても、どうしてもパソコンの調子がおかしいとき。

重 要

お使いのパソコンを修理に出すときは

- データをバックアップしてください。
  パソコンを修理に出した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまう場合があります。大切なデータは必ずフロッピーディスクや CD-R などの媒体にバックアップをしておいてください。
- リカバリディスクをご用意ください
  パソコンを修理に出すとき、リカバリディスクが必要になります。修理に出されるときは、必ず同梱してください。
  同梱されていない場合は、修理期間が長びくことがあります。

■ 保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
Windows が起動する場合、（サービスアシスタント）の最初の画面でこのパソコンの保証開始日を確認できます。表示される保証開始日を保証書に必ずご記入ください。保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となります。

■「QT-PC/U」で診断する

Windows が起動しなくなったときは、「アプリケーションディスク 2」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンを診断してください。
BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方は、別売の富士通製 USB CD-R/RW ドライブ「FMV-NRW53S」または「FMV-NRW52S」を接続してお使いください。

診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。
診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、富士通パーソナルエコーセンターにお問い合わせください。富士通パーソナルエコーセンターについては、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れます。

2 「アプリケーションディスク 2」をセットします。

3 パソコンの電源を切ります。

4 キーボードの【F12】の位置を確認します。
パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

5 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】を押します。
【F12】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

6 【↓】を押して「CDROM」または「CD-ROM ドライブ」（BIBLO LOOX S シリーズをお使いの方は、「USB CD-ROM ドライブ」）を選択し、【Enter】を押します。
自動的に診断が始まります。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果は画面の「STATUS」の部分に表示されます。
・エラーが発生した場合は「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。
・お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
・エラーが発生しなかった場合、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。

7 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、「アプリケーションディスク 2」を取り出します。

```
Eject CD-ROM.
Press Ctrl+ALT+DEL for power off
```

8 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。

9 次のように表示されたら、【Enter】を押します。

```
[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?
```

約 5 秒後に電源が切断されます。
機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切断されない場合があります。

```
Please power off manually
```

［DESKPOWER、BIBLO（LOOX シリーズを除く）の場合］
電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ってください。
［BIBLO LOOX シリーズの場合］
本体背面の強制終了スイッチをボールペンの先などで押して電源を切ってください。

POINT

エラーが発生しなかったときは
「パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）」（→ P.49）をご覧になり、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

索引

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）の最初の画面 → キーワードから選ぶ 検索

は行

ま行

ら行

わ行

よくあるトラブル集

よく起こりがちなトラブル画面集を集めてみました。トラブル予防の予備知識にもなります。イザというときにあわてないように覚えておきましょう。

突然画面が動かなくなってしまった…

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押してください。

動かなくなったアプリケーションを終了できます。

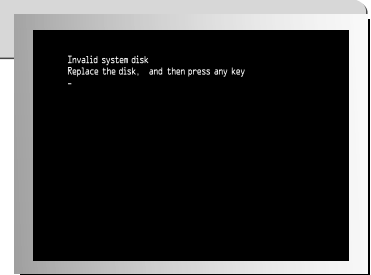
マウスポインタが動かない、キーボードも効かない！

■詳しくは「第1章 Q&A集」の「Q 操作中に画面が動かなくなった」（••▶ P.22）をご覧ください。

電源を入れたら、こんな画面が…

フロッピーディスクを取り出し、【Enter】を押してください。

Invalid system disk
Replace the disk, and then press any key

■フロッピーディスクをセットしたまま電源を入れると、このようなメッセージが表示されることがあります。

突然、画面が真っ暗になってしまった…

省電力機能が働きました。

■DESKPOWER：マウスを動かしてみてください。
■BIBLO：フラットポイントに触れる（LOOXをお使いの方はクイックポイントⅣのスティックを動かす）か【Shift】などのキーを押してください。
それでも元に戻らない場合は、電源ボタン（SUS/RESスイッチ）を押してください。

突然こんなメッセージが…

「送信しない」をクリックしてください。

XXXXX
問題が発生したため、XXXXX を終了します。ご不便をおかけして申し訳ありません。
作業途中であった場合、その情報は失われた可能性があります。
この問題を Microsoft に報告してください。
弊社に送信するためのエラー報告が作成されました。弊社では、この報告を匿名の機密情報として扱います。
エラー報告に含まれるデータの参照： ここをクリックしてください。
エラー報告を送信する(S)　送信しない(D)

■このメッセージは、パソコンがアプリケーションに対して出したものです。変な操作をしたからエラーが起きたわけではありません。ただし使用中のアプリケーションは終了されてしまいます。

「第1章 Q&A集」の「Q 操作中に突然メッセージ画面が表示された」（••▶ P.27）もあわせてご覧ください。